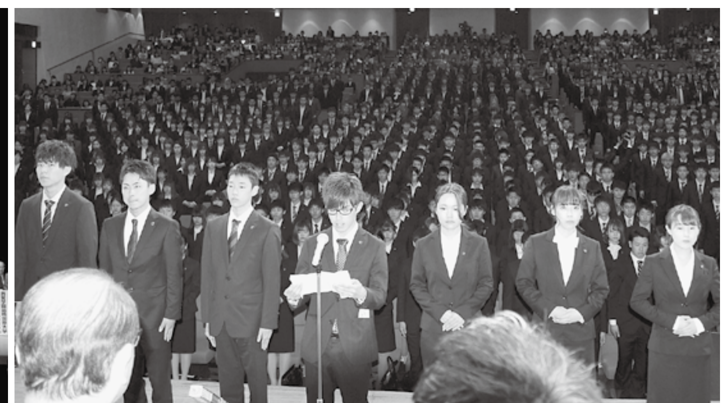
2019年 第49号
とことん面倒見のよい学校
中央カレッジグループ
学園新聞
中央カレッジグループ学園新聞編集委員会 http://www.chuo.ac.jp
〒371-0844 群馬県前橋市古市町１－49－１ TEL.027－253－1105(代) FAX.027－253－1124

学校法人有坂中央学園
中央農業大学校
中央情報経理専門学校
中央医療歯科専門学校太田校
群馬法科ビジネス専門学校
中央高等専修学校
学校法人中央総合学園
中央情報大学校
高崎ビューティモード専門学校
中央医療歯科専門学校高崎校
中央動物看護専門学校
CRI 中央外語学院
資格の学校 TAC群馬校
中央グローバルビレッジ(前橋英語村)

夢抱き 830人が学び舎に
７専門学校が合同入学式

中央カレッジグループの７専門学校による合同入学式が４月10日、県民会館（ベイシア文化ホール）で行われ、夢と希望を抱いた830人の学生たちが、本学園に仲間入りしました。

多くの来賓も参加した合同入学式で式辞を述べる中島代表


合同入学式で今後の努力を誓う７校新入生代表
＝県民会館（ベイシア文化ホール）で

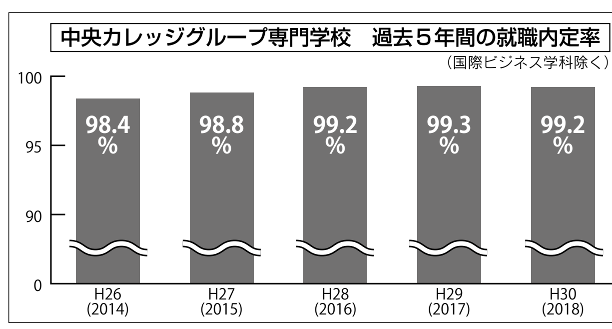
この日、入学したのは中央情報経理、中央医療歯科、群馬法科ビジネス、中央農業大学校、中央情報大学校、高崎ビューティモード、中央医療歯科高崎校の７専門学校の学生たち。

来賓、保護者、教職員を含め約1500人が参加した式典では、グループの中島利郎代表が、入学許可宣言。次いで、将来を見据えた学びの重要性を趣旨とする式辞を述べました。

多くの来賓を代表し、山本龍・前橋市長、佐藤昌義・関東信越税理士会群馬県支部連合会長、小谷野一彦・群馬県電気工事工業組合理事長が祝辞に立ち、専門知識や技術の習得への期待を込め、新入生にエールを送りました。

在校生による歓迎の言葉を受けて壇上に立った各校新入生代表７人が、「目標に向け努力を惜しまず勉学にいそしみます」と誓いました。

高い「就職内定実績」 ３年連続で99％超え



学園独自に 企業ガイダンス

企業採用担当者と直接面談し、自己PRや情報収集する学生たち

「就職早期内定目指そう」。中央カレッジグループ（有坂中央学園、中央総合学園）が学園独自に開催している合同就職企業ガイダンス（就職説明会）が、本年度も始まりました。このガイダンスは多くの専門学校を有する本学園が企業・団体の採用担当者に呼びかけ実施しているもので、10年以上の歴史があります。昨年度は年４回開催、のべ200社以上の参加がありました。それらの成果もあり、本校学生（国際ビジネス除く）の全体就職内定率は３年連続で99％を超えています＝図表参考。

本年度の企業ガイダンスは５月13日に第１回が行われ、54社（県内39社、県外15社）が参加しました。参加学生は約200人。第２回目は６月11日に開催され、55社（県内32社、県外23社）がブースを出し、学生たちに対応しました。

参加した学生たちは、企業の採用担当者と直接面談、質問し、企業理解を深め、就職早期内定に向け、積極的に活動しています。また、その学生たちを学園就職指導センタースタッフや各校教職員が支えています。また、専門学校によっては独自に就職ガイダンスを実施しています。

このような学園グループ挙げての就職活動支援の取り組みもあり、毎年全員就職内定を決めた専門学校も複数出ています（平成30年度実績では、６校が内定100％）。

厚生労働省と文部科学省が毎年調査発表している就職状況によると、大学生の就職率は2018（平成30）年３月卒業生が98％と過去最高、翌19（同31）年３月卒業生が97.6％となっています。当グループの学生たちの就職内定率は、その数字をも上回っています。

学園主催の第３回就職企業ガイダンスは11月にも予定されています。

システム・アルファ 中央情報大学校
IT人材育成・確保で「創育プロジェクト」

IT人材育成と地元定着を目的に、中央情報大学校（高崎市・中島慎太郎学校長）とシステム・アルファ株式会社（前橋市・廣山武雄社長）は、講義と実践・実技を交えた特別講座「創育プロジェクト」を始めました。

同プロジェクトに中央情報大学校から参加するのは高度ICTデザイン学科（４年制）の学生たちで、システム・アルファ社の施設内で主に授業を受けます。当面はIT企業関係者による講義から始め、将来的には職場体験などを通して、成果物を生み出すまでを学び実体験する予定になっています。

学校法人 有坂中央学園
CIA 中央情報経理専門学校
〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-4 TEL.027-253-5544(代) FAX.027-254-0605
www.chuo.ac.jp
CHUO 中央カレッジグループ

新入生インタビュー

新たな決意を胸に

2019年４月、中央情報経理専門学校に、新たな仲間が入学しました。元号も令和に替わり、新たな環境で活躍が期待される新入生たちにインタビューしました。

高度会計学科
経理専攻

前原　未侑さん
（高崎商業高校出身）

簿記をさらに深めたい

☆本校を選んだ理由

私は、高校のときに本校の簿記講座に参加しました。簿記講座は、とても分かりやすく日商簿記２級に合格することができました。この学校でもっと簿記を勉強したいと思い入学しました。

☆入学してからの感想

最初は、授業のペースやほぼ毎日あるテストに慣れず大変でしたが、徐々にこの環境にも慣れ、勉強に集中できています。仲の良い友達もでき、学校に行くことがとても楽しいです。

☆今後の目標

日商簿記１級を取得することが第一の目標です。分からない問題をそのままにせずしっかりと解決し、苦手な範囲を無くして、目標を達成できるように頑張ります。

高度会計学科
税理士会計専攻

金子　善俊さん
（樹徳高校出身）

日商簿記１級の取得目指す

☆本校を選んだ理由

私は、税理士を目指すために本校のこの学科を志望しました。税理士は、とてもやりがいのある仕事であり、かつ、社会に出たときに、両親に安心してもらえる仕事だと考えているからです。

☆入学してからの感想

初めて簿記を勉強していますが、新しいことに挑戦する難しさを感じています。授業では、覚えることが多く大変ですが、できるようになることで達成感を感じ、楽しく勉強しています。

☆今後の目標

まずは日商簿記２級を取得し、日商簿記１級の取得につなげていきたいです。授業をしっかりと聞くこと、一度間違えた問題を次は必ずできるようにすることを心掛け、目標を達成します。

情報経理学科
経営経理専攻

大津冬由生さん
（伊勢崎商業高校出身）

簿記やパソコン極めたい

☆本校を選んだ理由

高校生から始めた簿記やパソコンがとても楽しくもっと極めたいと思いました。また、学校のオープンキャンパスに参加した際、自分が思う勉強ができ、自分が目指す将来へ近づいていけると強く感じたからです。

☆入学してからの感想

すぐに始まった授業は１日４限、授業時間は90分と高校生の時よりも長く感じました。しかし、毎日の積み重ねが大切で、毎授業行われるミニテストでは毎回成績が上がるたびに自分に定着していると実感できます。

☆今後の目標

現在は日商簿記３級取得に向けて勉強しています。３級はクラス全員で受験する検定なので全員合格を目指します。その後、日商簿記２級の取得を目指しています。

医療福祉秘書学科

髙橋　瀬名さん
（明和県央高校出身）

まずは検定合格を

☆本校を選んだ理由

他校と違い、先生との距離が近く、何でもすぐに相談しやすい環境だったからです。また、資格の取得率や就職率の高さに魅力を感じました。学校生活の面では、かわせみ祭やスポーツフェスティバルなど多くの行事があることも入学を決めた理由の一つです。

☆入学してからの感想

授業時間が高校の時より長くなったことや、高校では学んでいなかった専門的な授業が始まり、慣れるまで大変でした。しかし、先生が１から丁寧に教えてくれ苦にならず楽しい時間に感じられています。また、医療についてあらためて知ったことにより驚きと、衝撃を受けています。

☆今後の目標

検定に向けて勉強を行い、クラス全員合格を目指していきたいです。また、行事も全力で取り組み、メリハリをつけて楽しい学生生活を送っていきたいと思います。

保育福祉学科

風間　　渉さん
（長野県立東御清翔高校出身）

保育士として貢献したい

☆本校を選んだ理由

私は、高校の担任の先生のすすめで、保育士になりたいと思いました。しかし、ピアノが弾けない私は、保育士になることを目指すかどうか悩んでいたところ、この学校のパンフレットを目にしました。そこには、初心者でも基礎から指導するという言葉がありました。そこで、オープンキャンパスに行き授業を体験。先生方の指導のようすと雰囲気のよさを感じ、この学校に入学したいと思うようになりました。

☆入学してからの感想

保育福祉学科は、女子学生が多いのでみんなと仲良くできるか不安でしたが、今ではみんなに優しく接してもらっています。入学前の不安は吹き飛びました。高校の授業と比べると、専門科目ということもあり難しい授業が多いですが、友人の協力を得ながら、学びを深めています。

☆今後の目標

３年間しっかりと学び、将来はよき保育者として社会に貢献したいです。

宿泊合宿に参加した学生たち＝「泊まれる学校さる小」で

「廃校利用」などテーマに 1･2年生がビジネスプラン合宿

情報経理学科

情報経理学科は、５月17、18日の２日間、１・２年生合同で、ビジネスプラン考案合宿を実施しました。

舞台は群馬県みなかみ町にある「泊まれる学校さる小」です。この施設は少子化に伴う統廃合により2008年３月に廃校となった猿ヶ京小学校をリノベーションしたものです。現在では映画のロケやイベントの開催地として利用され、その際に地元の食べ物や木材などを使うなど、地域振興にも貢献しています。

今回の合宿では「廃校利用」をテーマとしたビジネスプランの作成と、円滑な活動ができるようなチーム作りの２つをテーマに活動しました。

プランを考える１年生

各チーム７～８人で、「さる小」宿泊を体験。体育館を利用して作られたボルダリング用の壁や、軒下に用意されたハンモックなどのさまざまな設備を活用したり、給食型の懐かしいカレーランチを体験しました。学生たちは、施設でのそれぞれの過ごし方や利用方法を実体験することで、さまざま模索していました。

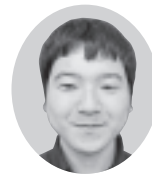
２日目は、学校へ戻り作成したビジネスプランを発表しました。１年生は、課題は残るものの初めてのプレゼンをしっかりやり遂げました。２年生は１年生のときに培ったプレゼン経験を踏まえ、さすがと思える発表で、中にはきらりと光るアイデアも目立ち、充実した合宿となりました。

今回の経験をもとに、学生たちは、群馬イノベーションアワード2019への出場を目指します。

全経簿記「上級」に埴田さんが合格

全国経理教育協会主催の簿記能力検定「上級」に、本校から高度会計学科の埴田裕矢さんが合格しました。入学して初めて『簿記』に触れ、難しい中にもやりがいを感じながら学習を続け、目標の簿記最高峰資格に合格した現在の気持ちを聞きました。

先生の熱心な指導に感謝



高度会計学科３年　埴田　裕矢さん
（渋川工業高校出身）

全経の簿記能力検定「上級」取得には２年かかりました。入学前の私はなんとなく「簿記っておもしろそう」という好奇心だけで現在の学科を選びました。しかし、本格的に授業が始まると自分が想像していた以上に理解が追い付かなくなってしまいました。

１年生の６月に受験した日商簿記検定２級は取得できましたが、11月の日商簿記検定１級の模擬問題では常に最下位の点数しか取れませんでした。今回の合格までに１級に３回、上級に２回チャレンジしました。クラスの友達が次々と合格していく中、１人取り残されていく状況で不安や、焦りが募りました。２年生の夏休みが終わると先生１人と学生２人のほぼマンツーマンの状況で授業を受けることになりました。先生に、基礎から丁寧に教えていただき、今まであいまいだった分野が理解できました。そのおかげで、模擬問題の点数が徐々に上がり、３回目のチャレンジで「上級」に合格できました。「２年間の頑張りがようやく実った！」と実感し、本当にうれしかったです。合格までの２年間で勉強に対する私自身の弱さと、足りない部分がよくわかりました。

現在は、これまでの経験を生かし、次の目標である税理士科目試験簿記論に１回で合格できるように日々努力をしています。簿記論では、今まで苦労して積み重ねてきた知識を活用して必ず合格したいと思います。

「リトミック初級」指導者資格 保育福祉学科３年生が全員取得

保育福祉学科３年生が、２月に実施されたリトミック初級指導者講習を受講、全員取得しました。

リトミックは、楽しく音楽と触れ合いながら、基本的な音楽能力を伸ばすことはもちろん、それだけでなく身体的、感覚的、知的な幅広い教育を充分に吸収できます。

それらを足がかりに、子どもたちが個々に持っている「潜在的な基礎能力」の発達を促す教育です。

３年生は５月から７月まで施設・幼稚園・保育園などで、各２週間の実習に励んでいます。今回取得したリトミックの知識・技術を実習先や卒業後にも生かしてもらえればと思います。

「診療情報管理士」の業務内容や試験対策学ぶ

本校には「診療情報管理士専攻」があります。医療福祉秘書学科医療福祉秘書専攻（２年制）を卒業した学生が、さらに１年間学ぶコースです。

診療情報管理士は、病院で扱うカルテなどの診療情報をまとめて、管理整理し、病院選びをする際などの資料を作成する仕事を担っています。

この診療情報管理士専攻学生と今後専攻を決める１年生を対象に、本校講師の霞堂徳子先生による「診療情報管理士について」の講話が５月24日に行われました。

講話では、診療情報管理士の必要性や業務内容、診療情報管理士試験についての勉強方法などについて話していただきました＝写真。

学生からは「診療情報管理士試験の勉強方法で悩んでいたが、今回の講話で自分に合った勉強方法を見つけることができた」「自分の目指す診療情報管理士のことがわかった」などの感想が出ていました。

「AED」使用法や救急救命の手順学ぶ

診療情報管理士専攻と医療福祉秘書学科２年生

救急救命の指導を受ける学生たち

診療情報管理士専攻と医療福祉秘書学科２年生を対象とした救命講習会が５月20日、前橋市消防局の協力を得て行われました。

消防局職員による講義では心肺蘇生法や止血法、異物除去法などを教えていただきました。救命救急の方法に加えて、実際に救命処置をした方の体験談や、救急車が到着するまでの適切な応急処置の効果についても学びました。

実技講習では心肺蘇生法を実践しました。学生たちは人工呼吸でうまく息が入らなかったり、胸骨圧迫で圧迫する位置がずれてしまったりしましたが、練習を重ねていくうちに上手にできるようになりました。また、AEDの使い方も学び、充実した講習となりました。受講した学生たちには、いざというときに落ち着いて行動できるように、今回の講習で学んだことを忘れないようにしてもらいたいと思います。

この日学んだ「救命救急の手順」は次の通りです。

▽倒れている人を見かけたら

①周囲の安全を確認してから倒れている人に呼びかけをする。

②呼びかけに応じない場合は、応援を呼び呼吸を確認する。応援に来てくれた人には、すぐに救急車を手配するようにお願いする。

③不自然な呼吸や呼吸がない場合は胸骨圧迫を30回。次に10秒以内に２回人工呼吸を行う。

新入生も交え、医療系３学年合同でボウリング

医療福祉秘書学科１、２年生と診療情報管理士専攻による交流目的の３学年合同「ボウリング大会」が５月27日、ラウンドワンスタジアム前橋店で行われました。

１年生は入学して間もないこともあり緊張気味でしたが、ゲーム数を重ねるにつれ、上級生と楽しそうに交流していました。また、検定や勉強方法、学校行事などを上級生に質問している姿も見られました。

観光地の課題や先輩の活躍学ぶ

草津温泉で現地研修

国際ビジネス学科の２年生

国際ビジネス学科日本語観光ビジネスコース２年生が６月３日、草津研修を実施しました。研修内容は、草津の課題研究と卒業生インタビューです。

■課題研究

湯畑周辺の散策と草津ホテルの見学を実施しました。事前学習では、草津の歴史や見どころなどについて学びました。当日の課題は、①写真を10枚以上撮影する②草津温泉街で販売しているものを食べる③草津ホテルでは、積極的に質問をすることなどです。

湯畑に到着した学生は草津温泉独特のにおいを体感。初めての湯畑に喜ぶ学生が多く、夢中で写真を撮っていました。温泉街では、温泉卵や温泉まんじゅうなどをおいしそうに食べていました。湯畑を散策した後、草津ホテルの見学と業務に関して質問。内容は、ホテルの繁忙期やサービス内容について、外国人観光客の対応についてなどでした。女将の丁寧な説明を熱心に聞く学生の姿がとても印象的でした。

女将に質問する学生たち

■卒業生インタビュー

草津ホテルで働く ディン・ブ・カンさん

昨年度、本校を卒業して草津ホテルに就職したディン・ブ・カンさんにインタビューをしました。

ディン・ブ・カンさん

▽仕事をする上で気をつけていることは何ですか。

まだ、入社して２カ月しか経っていませんが、仕事では「難しいことでも積極的にチャレンジする」「頼まれた仕事は断らない」ということに気をつけています。

▽学校で勉強した内容は、仕事でいかされていますか。

観光の授業で学んだ接客方法はもちろん、日本の伝統、日本人の考え方などを学んだことがとても役立っています。仕事でのトラブルはほとんどありません。

▽仕事で楽しいことや大変なことを教えてください。

楽しいことは仕事をすること自体です。私は、入職した時に生活や仕事について不安しかありませんでした。しかし、草津ホテルの女将をはじめとするスタッフの方々は丁寧に仕事を教えてくれるだけでなく、生活面でも多くのサポートをしてくれました。大変なことは、日常会話では使わない日本語を覚えることです。日本の料理の名前や食材の名前、道具の名前などです。今は、仕事場の壁にメモを貼り付けて必死に覚えています。

▽在校生へのアドバイスをお願いします。

外国人が日本で働くというのは大変です。就職活動で大切なことは、就職のために自分が何をするべきかを考えること、就職した後の自分の将来について考えること、そして情報収集です。企業ガイダンスなどに参加することはもちろんですが、積極的に先生たちに相談をして求人に関する情報をたくさん集めてください。

学校法人 有坂中央学園
GLC群馬法科ビジネス専門学校
〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-1　TEL 027-256-7700(代) FAX 027-256-8811
www.chuo.ac.jp
CHUO 中央カレッジグループ

公務員試験の出足好調

警察官、自衛官など１次80人超が合格

群馬法科ビジネス専門学校生が受験した群馬県警察官５月試験、埼玉県警察官第１回試験、長野県警察官第１回試験、JR東日本、自衛隊一般曹候補生第１回試験の１次合格発表が行われ、本校は総計80人を超える合格を勝ち取り、好調な滑り出しとなりました。

群馬県警察官の１次試験では、本校からは大卒者および大卒見込み者が受験する警察官Ａの区分で１人、高卒者向けのＢの区分で36人の合格者を輩出することができました。埼玉県警察官採用試験では、高卒区分で４人が１次合格、長野県警察官採用試験でも、高卒区分で１人が１次合格を果たしました。２次試験および最終試験でもこの好調さを維持できるよう、学生・職員が一致団結して対策を進めていきます。

群馬県警の２次試験では体力検査および集団面接が、そして、３次試験では個人面接が実施されます。面接試験では、警察業務が一般市民に対する「サービス業」であるという位置づけから、コミュニケーション力や志望動機について高いレベルの回答が要求されます。警察官という職業に対する漠然としたイメージに留まらず、警察官としてどのような業務に取り組みたいのか、自分の長所やこれまでの経験を警察官の業務にどう生かすのか、具体的で説得力のある回答を準備する必要があります。

自衛隊一般曹候補生試験は、本年度も５月試験が実施され、こちらも１次合格が総計42人と健闘しています。面接に向け、他の公安職との違いを調べ、整理しておく必要性があります。

また、JR東日本採用試験においても２人が１次試験を見事合格しました。公務員試験より先駆けて最終合格の結果がでる試験なので、令和初の合格目指して早くもラストスパートです。

これから夏にかけては、各県警の２次・３次試験や、一部の市町村職員、大卒者向け試験を中心に展開されていきます。また、高卒程度の事務職の試験は９月をメインに実施されていきます。

目標に向かって始動！

新入生インタビュー

質問項目

- Q1 目指している公務員は
- Q2 きっかけは何ですか
- Q3 高校時代の思い出
- Q4 今後への思いと意気込み

今春も、数多くの学生が憧れの公務員になるために本校に入学しました。ある人は消防士を、ある人は学校事務を目指し―と、それぞれコースや志望先は異なりますが、目標としている公務員になりたいという強い意志は全員共通です。新入生を代表して３人の学生に目標と意気込みを聞きました。

警察官・消防士　１年制コース

松井　直樹さん
（前橋工業高校出身）

警察官志望

Q1A 群馬県警の警察官です。

Q2A 自分の長所を生かして、人の役に立てる仕事、人助けができる仕事は何かと考えていたとき、部活動の顧問の先生から「警察官を目指してみないか」と勧められたことがきっかけです。

Q3A 部活動でインターハイへ出場したことです。中学校では器械体操部だったのですが、高校では新体操部に入部しました。ほとんど休みもなく、部活動三昧でしたが、充実した毎日を過ごすことができました。私自身は部長として未熟で足りない部分もたくさんありました。それでも部員みんなが協力してくれたおかげで、チーム一丸となりインターハイ出場という結果を残せたことが本当に嬉しかったです。

Q4A 高校３年生の時に群馬県警を受験したのですが、結果は２次試験で不合格。面接試験で自分の考えや熱意を相手に伝わるように話すことの難しさを感じました。今では、さまざまな出来事や話題に対して自分の意見を持つことと、自分の考えを端的に人に伝えることを心がけるようにしています。勉強面では、判断推理や数的推理が得意なので、その２つの科目は確実に点が取れる科目にできるようさらに磨きをかけつつ、苦手な暗記系科目を克服できるように、とにかく努力したいと思います。冬には学校行事の球技大会があるので、球技大会を思い切り楽しめるように、それまでに合格を勝ち取ります。

国家・地方公務員初級　２年制コース

酒井　茉季さん
（沼田女子高校出身）

学校事務志望

Q1A 群馬県の学校事務です。

Q2A 父が高校で教師をしており、父の働く姿を見ているうちに教育現場での仕事というものに興味を持つようになりました。学校事務として学校運営に携わり、先生方が円滑に仕事をできるようサポートし、仕事を通して、群馬の子どもたちの健やかな成長に貢献できたらと思っています。

Q3A 合唱コンクールで、EXILEのATSUSHIの「桜の季節」を歌ったことです。授業時間だけでなく、昼休みも放課後も自主的に集まって練習に励みました。クラスのみんなで協力して一つのことに打ち込んだ経験はとても良い思い出です。

Q4A 公務員試験特有の判断推理や数的推理はまだ勉強を始めたばかりで、なかなか思うように解けるようになりません。悪戦苦闘する毎日ですが、友達と知恵を出し合って難しい問題を解いたり、解き方を教え合ったりするのは楽しく、勉強を続けられています。１日でも早くこの２科目を得意科目にできるよう、勉強をしっかり頑張りたいです。行事では秋の「かわせみ祭」が楽しみです。自分たちで店舗を企画・運営して、利益を競うので、クラスで協力して１位を目指したいです。

警察官・消防士　２年制コース

根岸　涼太さん
（共愛学園高校出身）

消防士志望

Q1A 消防士です。

Q2A 災害現場で命をかけて人命救助にあたる消防士という職業に、小学生のころから漠然とした憧れを抱いていました。その後、消防士について見聞きし、調べたりするなかで、私が生まれ育った街で暮らす人たちを１人でも多く事故や火災から守りたいと考えるようになり、ただの憧れが具体的な進路へと変わりました。

Q3A サッカー部で練習漬けの毎日を過ごしたことです。自分たちのチームは決して強豪校ではありませんでした。それでも練習量はかなり多く、毎日遅くまでピッチ上を走り回り、修学旅行で沖縄を訪れた際にもホテル近くのビーチで朝練をしました。

Q4A さまざまな現場で活躍する消防士の姿に憧れ、消防士を目指すようになったので、私自身もたくさんの子どもたちから憧れてもらえるような消防士になりたいです。そのために、毎日の筋力トレーニングと走り込みは怠ることなく続けています。勉強面では、苦手科目の克服はもちろんですが、得意な地理や世界史で確実に点が取れるようにしていきたいです。２年制コースではパソコンスキルや簿記などの多くの資格・検定試験が受けられます。受験するからには全て合格できるようにしっかりと対策に取り組みたいと思います。

公務員試験対策で多彩な取り組み

本校では、公務員試験対策や学習の参考にしてほしいと、多彩なガイダンスや情報交換会などに取り組んでいます。

高校の先生と最新情報共有

「交換会」に県内25校から27人

県内の高校で進路指導などを担当する先生たち25校27人が参加した「公務員試験情報交換会」が５月23日に本校で開かれました。

情報交換会は、長年にわたって公務員試験の受験指導を行ってきた本校や同試験の出版事業などを展開する実務教育出版社が、進路指導を通じて公務員試験に関わる各校の先生たちに最新情報を提供し、情報の共有化を図ろうとするものです。

当日は、林康宏学校長のあいさつに続き、本校と提携関係にある実務教育出版の平垣多似子セミナー事業部部長が『「高卒程度公務員試験」の特徴と受験対策』というテーマで基調講演。

平垣部長は、資料をもとに各種公務員試験の動向や種類、試験日程、併願パターン、各試験の採用予定数、試験内容、合格最低点の分析、対策の立て方、SPI・SCOAへの対応方法のほか、令和元年試験の最新情報などを参加された先生方に紹介、説明しました。

本校からは、立見敦副校長が、学生を指導する立場から県内の高卒程度公務員試験の採用動向など詳細な最新試験情報を提供しました。

公務員試験の各種情報を説明する平垣部長

情報交換会に参加した先生たちは昨年度とほぼ同数で、依然として、高校生の進路指導における公務員への関心が高いことが窺えました。

参加した先生からは、「公務員試験について一つでも多くの情報を仕入れたいと思っていた」「今年度から公務員担当になったので、その情報収集のために参加した」「平垣部長から有益な情報を聞くことができた」などの声が寄せられており、より具体的で、進路指導に役立つ公務員試験情報を必要としている現場の先生たちのニーズにマッチした情報交換会となりました。

数的推理を講義する本校講師

大卒・短大卒向けに３カ月間の対策講座

校外の公務員志望者を対象とした大卒・短大卒程度の公務員試験対策講座が、本校で３月12日から約３カ月間にわたり開催されました。

公務員試験は、高卒程度、短大卒程度、大卒程度の３つに区分されます。今回の対策講座は、大卒程度、または短大卒程度試験の受験希望者を対象に行われ、科目別に実践的な解き方を解説し、受講者の合格をサポートするものです。

大卒･短大卒程度の公務員試験では、高卒程度の試験に比べ、より高度な教養知識が問われます。講座では、公務員試験の主要科目とも言える数的推理、判断推理、政治経済について、一日一科目の完結型の講座を実施しました。

20人近くの受講者には、現役の大学生のほか､社会人経験者の姿も見られ、企業等でのキャリアを社会への奉仕に生かそうという強い意志が感じられました。なかには、講座終了後に、講師に直接指導を受けたり、面接試験等の相談をする受講者も見られました。

昼間、大学や企業で学業や仕事に打ち込み、疲れているにもかかわらず、公務員を目指して夜間講座に参加する受講者の姿は､本校在校生にとっても、よい刺激となったようでした。

初級公務員ガイダンス

実務教育出版関係者が講義

本校と教育提携を結んでいる実務教育出版が、学生に最新の公務員試験情報や対策法を講義する「初級公務員ガイダンス」が、学園本部館６階ホールで行われました。

実務教育出版は公務員試験関係の出版社における最大手として知られ、本校学生・職員にとって強力な支援者となっています。

ガイダンスは、４月15日の「基礎期」と６月17日の「実践期」の２回にわたって実施され、公務員試験で課される、教養試験、適性試験、面接試験などのそれぞれについて、さまざまなデータが提供されました。

４月の段階では、まだ公務員試験について十分な知識が身に付いていない学生もいましたが、「基礎期」の講義によって、自分がどのような公務員試験を受験できるのか､また、自分が希望する職種に就くにはどのような準備をすればよいのかを知ることができました。また、「実践期」の講義は、主に２次試験で課される作文試験と面接に向けた準備の進め方について学ぶ機会となりました。

消防救助技術の指導会見学

警察官・消防士コース１年生

前橋市の群馬県消防学校で６月５日に開催された第43回群馬県消防救助技術指導会を、警察官・消防士２年制コース１年生の学生たちが見学してきました＝**写真**。

学生たちは、引き揚げ訓練で要救助者を建物屋上に運んだり、数メートルのはしごを素早く駆け上ったりする消防士の姿に、思わず歓声をあげていました。

指導会から帰った学生たちからは、「各自治体どの消防もチームワークが完璧で、行進の足音までそろっていて驚いた」「本当に格好良かった。自分もああなりたいと思う」などの感想が出ていました。

オリエンテーションで新入生が交流深める

新入生対象の合同オリエンテーションが４月11日、学園本部館６階ホールで行われました＝**写真**。

合同オリエンテーションは、新入生にいち早く仲間づくりのきっかけを与えるとともに、各自の性格や将来像を明確にし、目標を高く持って学校生活のスタートを切ってもらうために、毎年実施されています。

当日は、学生同士で声を掛けあうグループづくりゲームから始まり、取材形式で行われる自己紹介を行いました。その後、互いの短所を長所として評価し合う活動などに楽しみながら取り組みました。

最初は、緊張で表情が硬かった学生たちも､時間とともに打ち解けていき、笑顔が見られるようになりました。

おしゃべり防犯自販機に１年生の後藤さんの音声

本校校舎前に６月17日、地域防犯に役立てようと「おしゃべり防犯自動販売機」が設置され、林康宏学校長らが出席して記念式典が行われました。この自販機は､飲料を購入すると「安全、安心な街づくりにご協力ください」などの音声が流れる仕組みです。

この防犯自販機は、公益社団法人・被害者支援センターすてっぷぐんま、群馬県警、清涼飲料販売の群馬ダイドー、ダイドーグループが連携して設置したもので、本校などが所属する中央カレッジグループが協力しています。また、売り上げの一部は、犯罪被害者支援に寄付されます。このような防犯自動販売機の設置は、北関東では初の試みだそうです。

防犯自販機設置にあたり、本校の警察官・消防士２年制コース１年生の後藤綾菜さん（渋川青翠高校出身）が音声入力に協力しました。

将来の夢は地域住民から頼りにされる警察官という後藤さんは「この自動販売機によって、少しでも群馬県の防犯活動に貢献できたらと思っています。売上金の一部が、被害者支援センターすてっぷぐんまに寄付されるので、たくさんの人に利用してもらえるとうれしい」と語ってくれました。

おしゃべり防犯自販機と音声を担当した後藤さん

林学校長も参加した防犯自販機設置のテープカット

学校法人 有坂中央学園　厚生労働大臣指定 歯科衛生士養成所
CIS 中央医療歯科専門学校 太田校
〒373-0026 群馬県太田市東本町41-12 TEL.0276-25-8833(代) FAX.0276-25-8841
www.chuo.ac.jp
CHUO 中央カレッジグループ

夢の歯科衛生士に一歩

新入生インタビュー

「夢は歯科衛生士」。中央医療歯科専門学校（ＣＩＳ）と、中央医療歯科専門学校高崎校（ＣＭＳ）に、本年度も新たな仲間が加わりました。国家試験合格を目指し、学生生活をスタートした学生たちにインタビューしました。

羽鳥由里惠さん
（既卒・歯科助手経験者）

信頼される歯科衛生士に

▽歯科衛生士を目指したきっかけ

専門性が高く、自分自身も輝けるような国家資格を自分のものにしたいと考えました。これまでの経験の中で私が最もやりがいを感じた職業が歯科助手でした。私は人をサポートすることが好きだと気付き、歯科衛生士を目指しました。

▽本校を選んだ理由

勉強からしばらく離れていたので、90分授業ではなく集中して学べる50分授業を採用している本校を選びました。学校生活の３年間で多くの資格を取得できるところも決め手になりました。歯科衛生士として働く上で必ず生かされていくことだと思いました。

▽学校・クラスの雰囲気

１年生のクラスは新卒と既卒が半数ずつで年齢もさまざまです。入学したばかりは皆が戸惑いながらも交流していくようすが見られましたが、新卒も社会人もお互いに学ぶことができる、バランスの取れた、とてもいいクラスだと思います。学校全体の雰囲気も明るく、楽しく学校生活を送れています。

▽本校での授業は

先生方は、面白い先生方が多く楽しく授業を受けることができています。最初は不安も多くありましたが学ぶ教科が増える度に知識が繋がり無駄な教科はないのだと実感しています。

▽どんな歯科衛生士になりたいか

歯科衛生士として働くことだけに満足せず、技術や意識、目標を常に高く持ち続けたいです。また、仕事を通じて、人をサポートすることにやりがいを感じ、いつまでも初心を忘れることなく、感謝の心を持ち続け、来院者や周囲のスタッフから必要とされる歯科衛生士になりたいです。

深沢　紗良さん
（桐生市立商業高校出身）

将来も働ける仕事と確信

▽歯科衛生士を目指したきっかけ

これから先の人生を考えて、出産や育児の後も再就職しやすく、ずっと続けられる職業だと思ったからです。

▽本校を選んだ理由

オープンキャンパスに参加した際、先生や先輩方がとても親切で楽しそうだったからです。午後の時間をアルバイトなどに充てられるカリキュラムと学校の雰囲気が自分に合っていたことも本校に決めた理由の１つです。

▽学校・クラスの雰囲気

いろいろな世代が集まっているクラスなので、同年代だけのクラスと違い、落ち着いていて、社会勉強にもなります。また、皆が優しく面白いので、毎日楽しいです。

▽本校での授業は

難しい内容ですが、先生方が丁寧に指導してくださり、分からない所はその都度質問できる環境なので勉強しやすいです。

▽どんな衛生士になりたいか

患者さんが安心できるように、笑顔を忘れず、気持ちに寄り添い、信頼される歯科衛生士になりたいです。

緊張感持って実習に挑む

高齢社会に対応した歯科衛生士に

３年生全員が「介護予防指導士」認定
太田・高崎両校の学生が受講

介護予防指導士の認定証を受けた本校３年生

「高齢社会に対応できる歯科衛生士に」。太田校と高崎校の３年生が「介護予防指導士」に認定されました。

特定非営利活動法人「日本介護予防協会」の指導士講習を受講したのは、太田校の３年生31人と高崎校の３年生35人です。いずれもそれぞれ４日間の講義・実習を受け、全員が認定を受けることができました。

介護予防指導士は、多くの人たちが豊かな老後を過ごせるように要介護者だけでなく、健全者に対しても介護予防に関する指導をするための資格です。

各分野の専門の講師による講習は、「介護予防概論」「栄養ケア」の講義と、実習を中心とした「測定評価」「救急蘇生」「ストレッチ」「リハビリテーション」「筋力訓練指導」「転倒予防」の指導が行われました。

介護予防についての基礎を学んだことで、歯科衛生士としての臨床の場でも対応できる力と自信が得られた講習となりました。

校外実習で保育園児を指導する学生たち

保育園児に歯みがき指導
2年生が初めて校外実習

２年生18人が５月28日に太田市熊野町の熊野保育園で歯科保健指導実習を行いました。学生たちは、園児の年齢の特徴を把握し、それぞれに見合うテーマで楽しく保健指導しました。

年少クラスでは、「好き嫌いなくよく噛んで食べよう」「食べたら磨こう」のテーマに基づき、指導を行いました。３歳児の多いこのクラスでは、行儀よく、学生の話を聞いていました。

年中クラスではキャラクターをモチーフとした媒体を作成し「おやつの摂り方」「歯磨き粉に含まれるフッ素について」の指導を行いました。このクラスの園児たちは元気が良く、学生たちの話に興味深そうでした。

年長クラスでは、「新しく生えてくる６歳臼歯（大人の歯）の磨き方」「おやつは時間を決めて食べる」をテーマに、歯の赤染めを行い、指導用顎模型を用い６歳臼歯のみがき方を直接指導しました。

２年生になり、初の校外学習でしたが、本番を想定した練習を重ねた結果、堂々と発表することができました。

先輩たちが優しく指導
１年生と３年生合同実習

１年生と３年生の合同実習が、４月19日に行われました＝**写真**。

合同実習では、３年生が１年生の歯の型取りをし、取った歯型に石膏を流し模型にして１年生に渡しました。後輩たちは、その模型を使い、授業を行っています。

この実習では、３年生が型取りや石膏を流しているようすを、入学間もない１年生は間近に見て真剣にメモを取り、指導する３年生は、後輩に丁寧に説明していました。その姿には本校でのこれまでの学びとともに臨床実習での経験による成長が窺えました。

国内研修旅行で歯の博物館見学

５月に行われた高崎校との合同国内研修旅行で、神奈川県歯科医師会が運営する“歯の博物館”を見学しました。初めに歯科医師の先生から、江戸時代や明治時代の歯科事情についての講義が行われました。

博物館内見学では、今では貴重な明治・大正・昭和の診療室や、各時代・各国の歯ブラシや歯磨き粉、日本のゴム床や木製の入れ歯などを見せていただきました。現代の歯科では当たり前なことも、長い歴史の中で変化し、現在に受け継がれていることをあらためて実感することができました。

学校法人 中央総合学園　厚生労働大臣指定 歯科衛生士養成所
CMS 中央医療歯科専門学校 高崎校
〒370-0843 高崎市双葉町2-8　TEL. 027-310-5088　FAX. 027-310-5622
www.chuo.ac.jp　CHUO 中央カレッジグループ

新入生インタビュー　未来を夢見て

赤岡　優鞠さん
（既卒・歯科助手経験者）

授業と家庭生活が両立できる

▽本校を選んだ理由

子育て中の私が、学校に通う条件として、家庭と学校生活を両立できる環境が必要でした。午後の時間を有意義に使えるという他校にはない授業カリキュラムに魅力を感じたからです。

▽クラスの雰囲気

既卒の私でも打ち解けられ、コミュニケーションがとりやすく、毎日笑顔が絶えない素敵なクラスです。

▽好きな授業

どの教科も、今まで知ることのなかった身体の細部や歯科助手をしていたときに疑問に思っていたことを次々に知ることができます。好きな授業を一つだけ上げることはできません。

▽どんな歯科衛生士になりたいか

いつも、治療に訪れる方のことを第一に考え、不安にさせない丁寧な仕事ができる歯科衛生士になりたいです。

小野澤　舞さん
（新島学園高校出身）

歯科医院が身近だった

▽本校を選んだ理由

大きな未来を、自分の進路を決めるということがなかなかできず月日が流れていく中で、母の勤務先の歯科医院へ出入りする機会が多くあり、歯科に興味を抱きました。私自身、矯正治療で通院するうちに、いつの間にか歯科が身近な場所になり、そこの院長先生の勧めがあって本校を選びました。

▽クラスの雰囲気

全員女性で年齢もさまざまなので、最初は少し不安もありましたが、同じ目標に向かって進む仲間と思うと高校までのクラス環境の位置づけとは違うなと感じます。個性豊かで毎日とても楽しいクラスです。

▽好きな授業

現在は口腔衛生学と心理学です。普段の生活ではあまりしっかりと見ることのない口の中ですが、その状態によっては体調を崩す恐れもあるということを、口腔衛生学を学ぶことによって知りました。心理学では、見た目や会話から感じとれることとは違った角度からのものの捉え方を知ることができ、グループワークも楽しいです。

▽どんな歯科衛生士になりたいか

知識が豊富なだけでなく、治療に訪れる人たちの気持ちに寄り添い、人の痛みの分かる歯科衛生士になりたいです。そしてユーモアも忘れず、記憶に残る存在でありたいです。

高崎特別支援学校で工夫を凝らした歯みがき指導を行う学生たち

劇やクイズで歯みがきの大切さ訴え

高崎特別支援学校で初の歯科保健指導

本校の３年生34人が５月30日、高崎市立高崎特別支援学校を訪れ、中学部の生徒27人に対して、劇やクイズのかたちで分かりやすく歯みがきの大切さなどを指導しました。

この取り組みは、日ごろの歯科保健指導論の学習成果を学外で具体的に実践・発表するものです。

劇では、歯に扮した学生の肩に掛けた赤い布地が取れることで、歯肉からの出血が減っていくようすを表現するなど、工夫したパフォーマンスで歯の健康を伝えました。歯のプリンセス役の学生に、会場の生徒が駆け寄り、手と手と取りあう光景も見られ、心温まる歯科保健指導経験ができました。

同学校の清水道晃教頭からは、「学生と交流を深めながら歯みがきの大切さを学ぶことができた。今後も交流を継続したい」との言葉をいただくなど、学生にとって貴重な一日となりました。

● 保健指導実習参加者コメント

コミュニケーションの大切さ学ぶ
小暮　未来さん（３年生）

今回、特別支援学校への実習を経て今まで自分が抱いていたイメージが変わりました。障害を持った方たちとの接し方やコミュニケーションの取り方など、あらためてしっかりと学んでいきたいと思います。

また、劇などを通して子どもたちに歯の大切さなどを理解してもらうことは、とてもやりがいのある重要なことだということがわかりました。これからも臨地実習などで、多くの知識を得て、将来歯科衛生士となった時に役立つようしっかり学んでいきたいと思います。

心に残る触れ合い
新井　里歩さん（３年生）

今回のような特別支援学校での実習は普段から経験できることではないと思います。生徒のみなさんと触れ合うこともできて、とても心に残るものとなりました。

歯科衛生士としてこれからは、障害をもっている方たちの口腔内についても、さらに理解を深める必要があると感じました。

高齢者施設実習に向けオリエンテーション

高齢者施設実習を前に社会福祉法人「清光会」から説明を受ける学生たち

３年生の高齢者施設実習のためのオリエンテーションが、６月６日に行われました。

この会は、10日から予定される実習の事前準備のため、社会福祉法人「清光会」の担当者から施設概要などを聞くもので、それぞれの実習場所（泉の園・デイサービスセンターなど）について説明を受けました。

高齢者の口腔ケアの必要性が強く求められている現代において、歯科衛生士としてその身体的・心理的特徴を学ぶことは非常に重要な機会となっています。オリエンテーションを受け、学生たちは実習に臨む心構えができたようです。

高い技術力に感動 歯科器材メーカー見学

CMS・CIS合同研修旅行

スケーラー製造過程を見学する学生たち

本校と太田校合同の国内研修旅行が５月23、24日にかけて行われました。

１日目は、歯科用器具器材メーカーの株式会社YDM埼玉工場（東松山市）を訪問、キュレットスケーラーの製造過程などを見学しました。

キュレットスケーラーは、歯石を除去するための器具で、学生たちが歯科衛生士となった時に、歯科医院の現場で最も頻繁に使用する大切な器具の一つです。

工場見学で、高品質な製品づくりのため手作業で行われる職人さんのプロフェッショナルな技に、学生たちは息をのんで見入っていました。

この経験を忘れずに、歯科衛生士として働く際などには器具を大切に扱えるプロになってほしいと思います。

２日目は東京ディズニーランドで交友を深め、楽しい２日間の研修旅行となりました。

学校法人 有坂中央学園 専門学校
CAG 中央農業大学校
〒371-0805 群馬県前橋市南町2-31-1 TEL.027-220-1200(代) FAX.027-223-2814
www.chuo.ac.jp
CHUO 中央カレッジグループ

新入生インタビュー

「夢に向かって！」。中央農業大学校に、将来の夢を抱き、本年度も新たな仲間が入学してきました。各学科新入生を代表し、３人にインタビューしました。

夢に向かって

ファーム農業経営学科

角田　涼花さん
（栃木県立
那須拓陽高校出身）

農業関係の仕事に

❶高校での栽培実習の際、自分で栽培した作物を、加工したりお客様へ自分の手で届けたりしたいと思い、６次産業化に興味を持ちました。本校であれば、ファームクラブでの企業連携実習や、ファームドゥでの販売実習など、６次産業化について実践的に学べると思い選びました。

❷ファームクラブでの企業連携実習です。大きな圃場では大変なことも多いですが、作物ごとに必要な作業の時期や内容を学ぶことができ、作物の旬なども肌で感じることができるのでとても勉強になっています。

❸学生思いの先生方ばかりです。私たちの将来を考え、資格取得など熱心に指導にあたってくれたり、親のように学校生活以外のことも気にかけていただいています。

❹農業関係の仕事に就きたいです。本校で多くのことを学び、それらを生かして、たくさんの人々を笑顔にできる人間になりたいです。

農業経営学科

白井　大稀さん
（福島県立
大沼高校出身）

家業の農業を担う

❶実家が農業を営んでおり、将来は、家業継承を考えています。その農業を学ぶため、さらに農業の知識を得るため入学しました。私が卒業する年の５月に父も退職するので、その後の農業の手助けができればと思っています。

❷好きな科目は、農業情勢Ⅰと農業基礎概論Ⅱです。理由は、両科目とも自分にない知識を得て「こういうことか！」と思える内容で、のめりこめるからです。また、農業実習では座学で学んだ内容を実際に目にし、今まで知らなかったことを発見し、そこに面白さを感じるので実習も好きな科目の一つです。

❸先生方の印象として挙げられるのは「接しやすい」「話しやすい」ということで、それゆえにとても好印象だと感じました。また、講師の先生方は、それぞれの分野のスペシャリストという印象をうけ、各先生の考え方などを吸収できればと思いました。

❹家を継ぐためというのが第一の夢ですが、社会経験を積みながら、まずは父のように兼業農家として農業に取り組んでみたいと考えています。

食農調理師学科

小嶋　蓮さん
（群馬県立
万場高校出身）

調理師になりたい

❶調理師になるために必要な技術だけでなく、簿記や食の検定といった将来の自分のためになりそうな勉強ができると思ったことが、選んだ理由です。また、少人数制ということもあり、先生と学生の距離が近く丁寧に教えてもらえると思ったことも理由の一つです。

❷調理理論です。普段、自分達が食事をしていく中で考えることもなかった調理に関する疑問を、科学的根拠に基づいて紐解いていくことはとても面白いです。自分が知らなかったことを知り、自分の成長が実感できるので、これからも勉強し疑問を解決していきたいです。

❸先生一人一人が優しく指導してくださり授業も分かりやすいので、親しみやすい印象を持っています。楽しい学校生活を先生達とつくっていきたいです。

❹調理師として、給食センターや社員食堂などといった大量調理の仕事に就きたいと考えています。私は何か一つに集中することが好きなので、流れ作業が自分の気質にあっていると感じ、希望の仕事に就くために努力していきたいです。

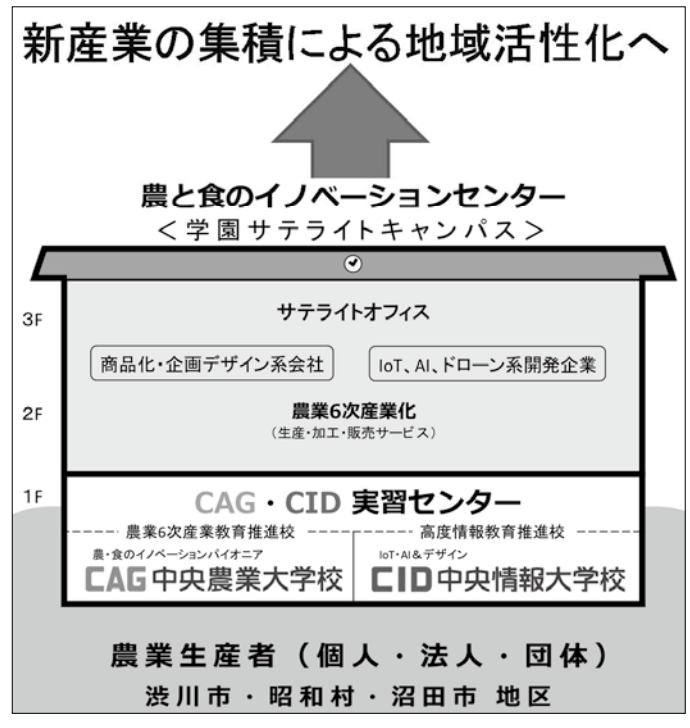
質問項目
①CAGを選んだ理由　②好きな（興味のある）授業科目と理由
③先生の印象　④将来（卒業後）の夢

農と食のイノベーションセンター

農商工連携で起業も

渋川・旧刀川小跡地 サテライト校に活用

「農と食のイノベーションセンター」としての活用が計画されている旧刀川小学校跡地



中央カレッジグループは、渋川市の旧刀川小学校の跡地を有効利用し、企業と学生が共同してイノベーションを生み出す場として“農と食のイノベーションセンター”を設立します（計画イメージは右表）。

計画によると、本センターはグループ校の学生らが農商工の企業と連携し、新たなビジネスチャンスを模索していく拠点と位置付けられ、学生は仕事の現場を身近に感じながら実践的に学び、企業は学生の新しい視点や発想を吸収・活用していきます。

加えて、本センターでは本校と中央情報大学校のサテライトキャンパスとしてグループ校間での連携も行われます。そこでは、「農と食×情報・デザイン・電気」が新たな可能性を生み出します。実際に業界での問題点を改善するための開発研究を行い、地域社会や経済の発展を通じて地域活性化へ寄与する取り組みも実施していく予定です。

ICTを農業に

平成30年度の第３回実施委員会

文科省委託事業が２年目に

本校が取り組む平成30年度文部科学省「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の委託事業「農業分野のスマートワークを推進・実現する人材育成プログラム開発事業」が２年目に入りました。

初年度は、教育機関、農業団体・企業、県農政部など関係者の協力を受け、実施委員会を３回開催。また、ICT農業についての先進事例調査と農業者アンケート、また、農業ICT概論のシラバス・コマシラバス・教材作成、そしてそのオンライン講座（ｅラーニング）の実証を行いました。

本事業は３カ年計画であり、４月には２年目となる本年度の計画書を文部科学省に提出しました。内容は、実施委員会を中心とし、ドローンや農業データ活用のシラバス、コマシラバス、教材の作成とオンライン講座の実証、そして海外を含む先進事例調査です。

CHUO Global Village CHUO Global Village 前橋英語村
www.cgv.jp
〒371-0125 群馬県前橋市嶺町1409-2 TEL.027-289-3125 FAX.027-289-9251
CHUO 中央カレッジグループ

Spring Day Camp

化石作りなど25人参加

初の試み大成功

楽しかったSpring Day Camp

本校初めての試みとして春のデイ・キャンプ（Spring Day Camp）を３月30・31日の両日、実施しました。参加者は２日間で25人でした。

プログラムはホームステイとファストフードというシチュエーショナルな活動と「化石作り」というアクティビティを中心とした内容でした。

キャンプという性格もあり、参加したメンバーの年齢には多少の幅がありましたが、全員が外国にいる気分に浸りながら、楽しそうに英語を話していました。

子どもたちに人気があったのは「恐竜の化石作り」でした。まずはイントロダクションで担当インストラクターが恐竜について簡単な英語で解説。さまざまな種類の恐竜を英語で何と呼ぶのかを知りました。

基本的なボキャブラリーを身につけた後、子どもたちが楽しんだのは、化石作りのクラフトです。最初は塩、小麦粉、水をこねて固めた粘土で自分が好きな恐竜の形を作り、それから恐竜の足跡をつけてオーブンで焼きます。焼きあがった化石に思い思いの色を塗ったら出来上がり。英語学習の視点から見ても、効果的な学習ができた一日でした。いきなりアクティビティから入るのではなく、イントロで十分な知識を得た後で、アウトプットが行われたので、表現の定着もしっかりとしたものになりました。何よりも楽しみながら、英語活動ができたのが収獲でした。

Easter Party

ウサギや卵を課題に楽しく

イースターパーティが４月21日に行われました。参加者は親子合わせて21人（園児～小学生）。西洋ではクリスマスとならんで盛大に祝われるイースターは、キリストの復活をお祝いするお祭りで、本校ではこれにちなんだイベントを楽しみました＝**写真**。

プログラムは大きく分けて二つ。最初は「ポップカード作り」でした。文字通り、飛び出すカードですが、飛び出すオブジェはウサギです。ウサギは繁殖力が強く、生命の象徴と考えられているからです。命の蘇りを祝うイースターには欠かせぬ存在なのです。参加者は好きな色をカードに塗り、“Happy Easter !” と文字を書き込んでオリジナルのカード作りに興じました。

もう一つは「イースターエッグハント」でした。卵もウサギとならんで命が宿ったものです。参加者は５グループに分かれて、館内のいたるところに隠された卵を探します。見つかった卵のなかには紙が入っていて、そこに書かれた英語のヒントを手掛かりにして宝箱の鍵を見つけるというミッションが皆に与えられた課題でした。鍵を見つけたら、宝箱を開けることができ、ご褒美にプレゼントがもらえるという流れに、参加者は楽しそうでした。

ゲーム性のあるイースターパーティでしたが、単なる遊びではなく、そこには英語圏の文化を学べるという側面があります。本校では、このような活動を通して、参加者が世界の文化を学べる機会を提供していきます。

県内外から来村し体験
３英会話教室の小中学生

群馬、埼玉、栃木の３つの英会話教室が英語村を訪れました。ECCジュニアの２教室は本校とパートナー協定を結んでいます。栃木のスクールは小学生がメインでしたが、インストラクターの質問にほぼ完ぺきに答えていたのが印象的でした。

コンテンツを紹介します。

▽３月22日　ECCジュニア持田３丁目教室（埼玉県行田市、中学生９人）
テーマ：卒業旅行　コンテンツ：イミグレーション、クッキング、ホームステイ、クリニック、サイエンス、ポストオフィス、トレジャーハント

▽３月28日　ECCジュニア時沢教室（前橋市、小学生７人）
コンテンツ：イミグレーション、ショッピング、イースターエッグハント

▽３月29日　Simon English House（栃木県栃木市、小・中学生８人）
コンテンツ：イミグレーション、ホームステイ、ショッピング、ファストフード

7月27日から15日間「サマーデイキャンプ」

本校では、今年も「サマーデイキャンプ」を開催します。期間は昨年と同じ15日間です。

【キャンプの５つの特長】
①初心者から上級者まで対応
②スタッフはバイリンガル
③リアルなシチュエーション
④楽しく学ぶアクティビティ
⑤多彩な国籍のインストラクターと触れ合える

【日程】
７月27日・28日・31日
８月１日・２日・３日・４日
８月６日・７日・８日・９日
８月19日・20日・21日・22日

アートやスポーツ、クッキング、プログラミングなど多彩な内容。コラボ企画もあります。

時間：10：00 ～ 16：00
料金：8,000円（税抜）昼食付
※５日以上お申込みの方はご利用料金から８％引き。
対象：小学１年生～小学６年生
定員：10人～ 15人（プログラムによって異なります）
詳細は本校のHPで紹介。

My favorite phrase!

CGVインストラクター
吉井アリス

Carpe Diem !

この言葉の意味は「今を楽しめ！この瞬間を大切にしろ」です。

私が学校で学んだラテン語です。時間はあっと言う間に過ぎ去っていきます。皆さんも自分の人生を送る際にぜひ参考していただけたらと思います。

Mayor's Message

I wish I had a green thumb.

Makoto Shimotao

One of my hobbies is gardening. I'm very enthusiastic about growing a variety of plants in my garden at home.

I like gardening so much that I have even made out-of-my-house gardens at several places I worked for Takasaki and Maebashi.

In my TPC days, I tried growing plants in a rather unsunny environment. One example was a dog-shaped yellow rose arch in front of the school. After moving to Maebashi, I made an adventurous attempt to create a vertical garden, using climbers such as roses, clematis and jasmines. What I want you to know is that I brought a few plants from TPC: the banksia rose and lavender. I'm delighted to find every climber and shrub growing more lively, exposed to a lot more sunlight on CAN's nutritious flower bed.

バラとクレマティスの垂直ガーデン（CAN）

Now I'm into making a nice and cozy herb garden in our village. I initially thought that the flower bed covered with low-growing herbs might keep out annoying weeds that would rampant in the summertime. But I've recently found another lovely reason for growing the Mediterranean plants: making a scent garden on our CGV flower beds. Their aroma has a relaxing and soothing effect on your mind. So when you come to our village, make sure to visit the tiny space to forget about the hustle and bustle of your work life for a while.

ラベンダー、タイム、セージを中心とするハーブガーデン（CGV）

今回のメッセージは村長の趣味の一つであるガーデニングについて。TPC、CAN、グローバルビレッジのそれぞれの庭の特色は何でしょうか？またタイトルのグリーン・サムとは何を意味するのか調べてみてください。

Super Kids English Studio
中央外語学院
〒371-0843　群馬県前橋市新前橋町17番地36　中央総研ビル1Ｆ TEL.027-256-7200　FAX.027-256-7201
www.chuo-gaigo.com
CHUO 中央カレッジグループ

新年度スタート

148人が熱心に学習
初心者には補習授業も

本学院の新年度がスタートしました。本部校、課外授業を含め前年度比17人増の148人が熱心に学んでいます。

学院の特長でもある派遣関係では、幼稚園・保育園は36園、学童は４園に講師が出向いています。

大人向けクラスは５クラス（昼４クラス、夜１クラス）ですが、40代後半から70代までの27人が熱心に学んでいます。自己啓発やクラブ活動という感覚で取り組まれているケースが多いようですが、本格的なビジネス英語の習得を目指す方も参加されています。

アルファベットを書けないお子さんも入会されますが、授業開始の15分前に補習授業を行うなどのフォローを行い対応しています。お子さんは吸収力が高いのですぐに追いついてくれます。

学童での授業風景

今から親しもう！小学校英語
４技能習得めざし 夏の特別教室を開講

「聞く・話す・読む・書く」

2020年４月から小学校英語教育が本格化します。５年生から教科英語として成績で評価され「聞く・話す・読む・書く」の４技能の習得が求められるようになります。

本学院ではその内容を知り、無理なく楽しく準備してもらうことを狙いに「今から親しもう！小学校英語」と題した夏の特別教室を開講します。

教室では、現職のベテラン英語補助教員が小学校英語に有効なアクティビティやワークシートを通して分かりやすくレッスンします。

小学校では700単語に触れることが求められていますが、聞いたことがある馴染みの英単語やフレーズから導入し、スムーズに学習していただくように工夫しました。

会場は前橋市中心部にある多世代交流施設「COCON前橋」（千代田町1-8-8）で、開催日は７月30日、８月６日、８月20日、８月23日の全４回の講座です。

いずれも授業時間は１時間で、受講料は4000円（税別）です。問い合わせ申し込みは、本学院（☎027-256-7200）まで。

本学院では今後も小学校英語に対応したカリキュラムには積極的に対応していく計画です。

資格の学校 TAC 群馬校
お申し込みお問い合わせは資格の学校TAC
〒371-0805　群馬県前橋市南町3-14-1　TEL 027-226-1823　FAX 027-243-5300

資格について知ろう
自分の夢に合った受験を

「資格を取りたい」「検定に合格したい」と、考える人にアドバイス。資格は大きく３つに分けられます。ここから理解してください。

国家資格

法律に基づいて国や国から委託を受けた機関が実施する資格。取得が難しいものも多いが、国から職業的な地位も保障されるため、社会的な信用度も高い。

公的資格

国家資格と民間資格の中間に位置づけられ、官庁や大臣が認定する資格。取得すれば一定の能力があることを証明できるので、就職や転職に有利。

民間資格

民間団体や企業が、独自の審査基準を設けて任意で認定する資格。国家資格や公的資格と同じように認知されている資格や、仕事に結びつく資格もある。

※現在、資格や検定は約2000種類以上もあるといわれています。TACでは資格の特徴はもちろん、難易度や標準学習時間などの資格に関する情報が満載です。きっとやりたい資格が見つかります。資格に関する相談はTAC群馬校まで。

2020年度合格目標試験対策順次開講
大学で公務員対策講座

TAC群馬校では、本年度の公務員試験対策を順次開講しています。就職先として一番の人気がある公務員。民間就職を意識しながらも公務員受験を併願する学生が増えています。

群馬校では、各大学向けにカスタマイズして、大学独自のオリジナル公務員講座を展開しています。講師を派遣して実施する学内講座も、５月開講の高崎経済大学＝写真＝を皮切りに、群馬大学・県立女子大学などでも順次開講中です。高崎経済大学では、186人が受講しており、県内外、国家公務員や地方公務員を目指して日々、学習に取り組んでいます。

群馬大学においては、４・５月と公務員ガイダンスを荒牧キャンパス・桐生キャンパスで実施、約150人の学生が参加し、講義終了後も多くの学生が質問をしていました。

県立女子大学でも、公務員採用試験の最重要科目である「数的処理講座」の対策講座に約30人の学生が合格に向け学習中です。

お得な講座キャンペーン情報

行政書士　夏の早割キャンペーン
対象：チャレンジ本科生
期間：７月31日（水）まで
・通常受講料から10,000円割引

資格・検定紹介

2019年10月より初めて実施

―「年金検定２級」編―

●年金や医療保障について（頼れる相談者になる！）

年金検定は、公的年金等に関する専門的・実務的な知識を身につけていることを証明する検定試験です。老齢年金の全体像はもとより、障害年金及び遺族年金の支給要件や、年金額の計算、また公的医療保障の基礎についても問われます。合格者は、金融機関の年金相談や公的年金の新規口座獲得に関わる相談スキルの向上に、また社労士やFPなどの実務者にとっては業務の拡大に繋げることができます。

―「相続検定２級」編―

●相続コンサルティングに求められる相談力を証明する！

高齢化に伴う相続事案の増加に伴い、専門家のみならず、金融機関の担当者や一般生活者にとっても、相続に関わる法制度の理解や、円滑な資産承継のために必要となる知識の獲得は、必要不可欠です。

相続検定は、金融機関の職員など相続や事業承継に関する専門的・実務的な能力に秀でた人材を育成することを目的として創設。相続における課題を的確に把握し、適切なアドバイスを行う能力を身につけられます。

完全閉鎖型食物工場プロジェクト

「ものづくり指南塾」と連携

共同研究に挑戦する学生有志・教職員と「ものづくり指南塾」メンバー

前橋商工会議所を事務局に市内の製造業者らが“ものづくりの新たな仕事”を創造するために活動する「ものづくり指南塾」と本校学生との共同研究開発が５月から始まりました。

第１期では、ものづくり指南塾が培った完全閉鎖型施設での野菜栽培のノウハウを学び、実証することに取り組みます。

それを基にした第２期では、学生の柔軟なアイデアを取り入れた新たな完全閉鎖型植物工場におけるイノベーションを起こしたいと考えています。環境に左右されない栽培方法でもある“完全閉鎖型植物工場”は、世界的に環境悪化が懸念されるなかでの救世主ともいえる存在です。

今回のプロジェクトは農業経営学科を中心に、各学科から学科コース専攻の垣根を越えて有志14人が集結しました。今後はデータの収集・蓄積、栽培手法をマニュアル化し、新たな手法を開発し実践していきます。

グリンリーフで農業実習を開始

日本語・ソーラーファームコース

本校の職業教育連係企業で、有機農産物の栽培・加工・販売等を手掛けるグリンリーフ株式会社での農業実習が５月10日に始まりました＝**写真**。

実習を行っているのは、日本語・ソーラーファームコース２年生７人です。国籍はエジプト、ベトナム、ネパールです。現在、ホウレンソウの収穫やコンニャクの栽培など、生産現場での実習に励んでいます。

学生たちは、１年生の時に日本語を学んでおり、作業の指示を理解できますが、実際の現場では、初めての作業が多く、慣れるのに時間が掛かることもあります。今後､経験を積むことで、たくましくなっていくでしょう。

GGCと今年も連携

新商品ハンバーグ開発へ

GGC関係者と打ち合わせを行う学生たち

食農調理師学科２年生とステーキ＆ハンバーグの専門店GGCとの連携事業が今年もスタートしました。

この取り組みは、毎年８月と１月の月替わり限定ハンバーグとして行っている新商品開発で、店舗訪問や実際の商品の試食などを行い、お店のコンセプトに合った新メニューを考えていきます。

学生にとっては、自分のアイデアが商品として販売してもらえるチャンス。まずは８月メニューが楽しみです。

秋の収穫夢見て宮城農場で田植え

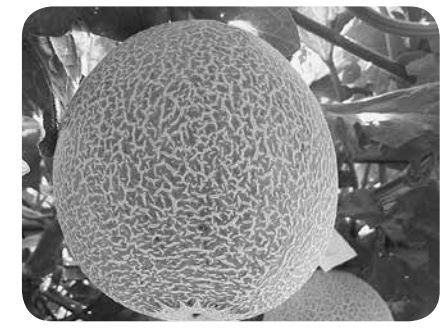
本校ブランド米「はたちのコシヒカリ」の田植え実習が６月６日、宮城農場で行われました＝**写真**。

本年度は稲苗を購入せず、種籾から育苗までの全てを本校で行いました。発芽途中の種もみが鳥害に遭うなど問題も発生しましたが、実習日には準備が整いました。

田植えには１年生40人とチューター学生の２年生５人が参加。２年生による指導で、横一列に並んだ１年生が、目印を頼りに苗を３本ずつ丁寧に手作業で植えていきました。田んぼ１枚を手植えで残りの７枚は田植機で植えました。

その様子は、農業ICTコースの２年生がドローンを用いて空撮。上空から田植えを記録しました。今後学生たちは、栽培管理をしながら秋の収穫を目指します。この秋には、おいしい「はたちのコシヒカリ」が販売される予定です。

水耕栽培メロン間もなく収穫



本校では、「まちだ式新農法」を用いたメロンの水耕栽培に本年度も取り組んでいます＝**写真**。

昨季は１株で約60個の収穫に成功し、糖度20に迫る食味を計測するなど大きく前進したシーズンでした。

今季は、更なる増収と品質の向上、安定といえるまであと一歩に迫った年２回穫りの確立を目指して春から播種を開始、新入生もプロジェクトに加わり、栽培に励んでおります。気候条件への対応など試行錯誤の日々ですが、最初の収穫はもう間もなくです。

合同歩行ラリーでペア向上賞１位に

４月26、27日に行われた合同歩行ラリーで本校から参加した田村優樹・長沼洸太組が、ペア向上賞１位に輝きました。

【学生コメント】

田村　優樹さん（ファーム農業経営学科、栃木県立佐野松陽高校出身）

私たちのペアは初日に大失敗。これをただの経験で終わらせずに、この失敗から何を改善できるか考え、良い結果が生まれました。

長沼　洸太さん（農業経営学科、市立前橋高校出身）

さまざまな失敗を次の日の成功の糧（かて）にできました。この歩行ラリーを通して“協調性”“自分を客観視することの大切さ”も学ぶことができました。

和食アドバイザー検定

２級をCMS１年生が受験

和食アドバイザー検定２級取得プログラムが６月19日から21日にかけて本校で行われ、中央医療歯科専門学校高崎校の１年生40人が挑戦しました。

このプログラムは、２回の調理実習の後、和食についての講義を受講、和食アドバイザー２級検定を団体受験し、資格を取得するものです。

歯科衛生士を目指す学生たちは、歯の健康と食生活の観点から、食や栄養についても学んでいます。

調理実習では、和食の基本であるダシのとり方を中心に一汁三菜の献立と、群馬県の郷土料理「すいとん」や炭酸まんじゅうを作りました。

●お弁当コンテスト●

作品を募集します

第６回「お弁当コンテスト」（本校主催）を今年も実施します。テーマは“地産地消”。地域食材に興味を持ち、新鮮で安全・安心な食材の知識を学びながらお弁当を作ってください。食材に２品以上地産地消食材を使用することが条件。料理は和食・洋食・中華等ジャンルは問いません。（詳細は学校HPで）

新任紹介

小林　輝大先生
（農業実習担当）

後輩の育成に尽力

今年の３月から中央農業大学校に入職した小林輝大です。輝大と書いて「かんた」と読みます。

私は、本校の卒業生です。卒業後はホームセンターに入社し、仕事は接客を中心にフォークリフト作業や売り場作成などを担当していました。その時の経験を、体験談として伝えることで学生たちの将来に対するイメージづくりに繋がってほしいと思っています。

授業は主に農業実習を担当しています。私にとっては後輩にもあたる学生たちにも充実した学校生活を送ってもらえるように尽力していきたいです。よろしくお願いします。

学校法人 中央総合学園 専門学校
CID中央情報大学校
〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-2 TEL.027-324-8511(代) FAX.027-325-8820
www.chuo.ac.jp
CHUO 中央カレッジグループ

夢に向かって頑張ります

新入生インタビュー

中央情報大学校に今春、多くの仲間が入学しました。学園生活に慣れ、夢に向かって日々頑張っている学生たちにインタビューしました。

電気通信学科
電気工事士専攻(2年制)1年

大川　颯太さん
(石川県立
飯田高校出身)

資格取得に全力

私は電気関係の知識がゼロの状態で、この学校に入学しました。

最初は、電気をどうやって勉強すればいいのかわかりませんでしたが、先生や仲間と一緒に勉強をしていくうちに、少しずつ知識が身についてきました。

これからは、第二種電気工事士の取得を第一歩とし、第三種電気主任技術者など多くの資格を取得できるように頑張ります。

高度ICTデザイン学科
高度開発・プログラム専攻1年

新井　剣さん
(桐生市立商業高校出身)

J検や基本情報など合格目指す

私は、J検を確実に合格したいと思っています。そのためにも日頃から行われているミニテストに合格し、間違えたところは完全に理解できるようになるまで取り組んでいます。今年の最終目標は、サーティファイ、基本情報技術者試験に合格することです。

私の学習方法は、自分なりに解釈できた部分を、分からない友達に簡潔に教えることです。これによって、内容をより深く理解することができました。これからも、今後の勉強をより良いものにしていきたいと思います。

情報システム学科
プログラム専攻１年

小野　亜子さん
(渋川青翠高校出身)

日々の授業も楽しく

私がこの学校に入学してから１カ月以上が経過しました。明るい先生方のお陰で授業は楽しく、あっという間に１コマが終わってしまうことも少なくありません。正直、得意・不得意はありますが、ゆっくりでも自分で解くことができるように努力しています。６月のＪ検・10月に基本情報という技術者試験があるので、それに向けても頑張ります。担任の先生や、個性豊かな友人たちに恵まれたこの環境で、自分の将来がより良いものとなるように充実した日々を送っていきたいです。

デジタルデザイン学科
3D-CAD 専攻１年

齊藤　乃彩さん
(樹徳高校出身)

ものづくりの技術学びたい

私は高校時代に授業で、３歳児を対象にした絵本作りを行いました。その際に文章や挿絵、色をどう表現すればいいのかとても悩みました。同時に、絵本を読む側の立場になってデザインやカタチを考えることが楽しいことにも気付きました。

進路選択でデザインとモノづくりを学べる学校を調べ、この学校への進学を決めました。今後はデザインの基礎と「ものづくり」の技術を身につけて、ユーザー目線の製品開発に挑戦していきたいです。

国際ビジネス学科
日本語・ITエンジニアコース1年

MORIMOTO SEN さん
(ロシア出身)

日本で就職したい

私は日系ロシア人なので、ルーツを知ることと、IT分野への興味から情報系企業で働きたいという夢を持ちこの学校に入学しました。

１年生の間は日本語の授業が多いです。日本語は勉強をすればするほど、同じ言葉でも異なる意味があることが分かり、奥が深い言語だと感じます。

今後は多くのコンピュータ言語を身に付け、日本で就職するという同じ夢を持つクラスメイトと、勉強を頑張っていきたいです。

国家試験に合格者相次ぐ

「応用情報」県内独占 情報系

応用情報技術者試験（４月21日実施）において、本校学生４人が合格しました。群馬県内の専門学校では本校の学生のみが合格という結果でした。

また、情報セキュリティマネジメント試験では１人合格、基本情報技術者試験では５人が合格しました。

本校の試験対策授業では、上級生が下級生に指導するチューター制度が活用されています。下級生は、話しやすい上級生の指導を受け、上級生は教えることで、さらなる理解を深め、教え方を学ぶこともできています。

国家試験対策授業を行う内池雄先生は「上級生、下級生それぞれが、いい雰囲気で勉強できている。今後も、さらに上位試験へ挑戦してほしい」と話しています。

情報系の国家試験に合格した学生たち

【応用情報技術者試験合格者】
▽高度ICTデザイン学科２年
桑名　大樹（高崎商科大学附属高校出身）
中島　啓汰(桐生市立商業高校出身)
松村　　練（前橋工業高校出身）
▽情報システム学科２年
大野　彩夏（群馬工業高等専門学校出身）

工事担任者 DD 第１種 今年も合格 電気系

工事担任者DD第１種試験（５月26日実施）に、本校の電気通信学科２年の小倉良介さんが見事合格しました。

「工事担任者」は主にインターネットや電話回線といった通信工事を行うために必要な国家資格。資格区分はアナログとデジタルがあり、DD第１種はデジタル回線の最上位資格でデジタル通信に関する工事全てを施工することができる資格です。

小倉良介さん

本校では昨年度に引き続き、５年連続での合格者輩出となりました。

【工事担任者DD第１種試験合格者】
▽電気通信学科２年
小倉　良介（前橋育英高校出身）

コンテスト入賞実績

本校のデジタルデザイン学科の学生たちが、コンテストに相次いで入賞しました。

【第45回高崎まつりボランティア募集ポスターデザインコンテスト】
▽最優秀賞
髙橋　千晴（デジタルデザイン学科２年、高崎商業高校出身）
▽優秀賞
佐藤ありす（同、高崎商科大学附属高校出身）
成田　摩也（同、藤岡工業高校出身）
藤本　琴乃（同、安中総合学園高校出身）
黒澤　梨花（同、樹徳高校出身）

【第34回ミスひまわりコンテスト出場者募集ポスターデザインコンテスト】
▽最優秀賞
秋山　栞奈（デジタルデザイン学科２年、児玉白楊高校出身）

▼高崎まつりボランティア募集ポスター最優秀賞の髙橋さんの作品

▲ミスひまわりコンテスト出場者募集ポスター最優秀賞の秋山さんの作品

▽優秀賞
平塚　紗奈（同、新島学園高校出身）
前田美咲季（同、渋川青翠高校出身）

【群馬地本自衛官募集ポスターコンテスト】
▽作品採用
伊與部　瞳（デジタルデザイン学科１年、前橋西高校出身）
佐藤　京香（同、前橋西高校出身）

プロの技や企業の取り組みを身近に
多彩な実践授業を展開

本校では、各学科を通じて、企業やプロのデザイナー、アーティストなどと連携した実践授業を実施しています。

学生サイバーパトロール

群馬県警からサイバーパトロールコラボレイターの委嘱を受ける代表学生

「群馬県警察学生サイバーパトロールコラボレイター」の委嘱式が、６月10日本校で行われ、佐藤浩・県警本部生活安全部サイバー犯罪対策課長から、高度情報システム学科・情報システム学科の代表学生４人に委嘱状が手渡されました。

本校学生が委嘱を受けるのは昨年度に続いて２年目。学生たちは今後、インターネット上の有害情報や悪質サイトの発見などを行っていきます。

今回の委嘱に伴い、サイバーパトロールにおける心構えや有害情報の実情、具体的な通報方法などについての研修も同時に行われました。

群馬県警によると、今期は活動機会や各種イベントを昨年度よりも増やし、委嘱した学生たちとの交流の機会などもさらに進めたいということです。

デザイナーの江藤さん招き パッケージデザイン学ぶ

デジタルデザイン学科

江藤さんから指導を受ける学生たち

国内外で活躍しているデザイナー、江藤正典さんを講師に招いたパッケージデザインセミナーが５月17日、本校で行われました。

デジタルデザイン学科１年生を対象に行われたもので、講師の江藤さんは、大手食品メーカーのパッケージデザインなどで知られるほか、デザインコンテストの審査員などを歴任しています。

セミナーでは、デザインのアドバイスや発想法についての講義と新しいアイデアを考えるワークショップを実施。学生たちは、グループワークを中心に、与えられたテーマに沿った「アイデア出し」からグループでの検討、個人発表までを行いました。

江藤さんからは、各グループに対して適切なアドバイスをいただきました。今回のセミナーを通して学生たちは、日本・アジア学生パッケージデザインコンペティションをはじめ、様々なコンテストに向けた作品づくりに挑戦していきます。

スマホのアプリで参加型授業を実践

情報システム学科

情報システム学科では、Webアプリを使って学生参加型の授業を行っています＝写真。

早押しクイズアプリ「Kahoot」を利用し、クラス全員で得点を競い合い楽しみながら習熟度を高めています。また、「Googleフォーム」を利用し、テストの採点や集計作業を自動化しています。テスト終了直後の分析により、理解度が低い箇所を解説し、問題への理解を深めることで、学習への意識を高めています。

アプリ活用の目的は、不明点をその場で洗い出し、その場で解決することと、授業を楽しく展開することで学生のモチベーション維持につなげる狙いがあります。

学生が勉強を「大変なもの」ではなく「面白いもの」として取り組めるよう、授業研究の試行錯誤を続けています。

プラス株式会社と家具デザインで連携

デジタルデザイン学科

デジタルデザイン学科２年生は、オフィス家具のプラス株式会社と連携し木製家具のデザインに取り組んでいます。この連携は、今回で４年目。

学生たちは５月28日、前橋工場・ショールームの見学を行いました＝写真。

今年はこの授業の受講生が多く、コミュニケーションを大切にしながらグループワークを進めることがポイントになります。

今後、企業担当者と打ち合わせを重ね、優秀なデザイン案を１点に絞り、製品化を目指していきます。

関東電気保安協会で設備の業務体験

電気通信学科

電気通信学科の現２年生が２月27日、一般財団法人「関東電気保安協会」で電気設備保安業務を体験しました。

電気設備点検をする学生

学生たちは、リレー試験装置など実際に使用される装置を使用して、電気設備が正常に動作するかを確認、どのようにして私たちが使っている電気設備が守られているかを学びました。

難関資格の電験三種保有者が行う業務を知ることができ、とても貴重な体験をすることができました。

文化庁メディア芸術祭を見学

デジタルデザイン学科

デジタルデザイン学科１・２年生が６月３日、ゼミ研修として第22回文化庁メディア芸術祭の受賞作品展を見学しました＝写真。

文化庁メディア芸術祭は、芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を表彰し、受賞作を対象に展示するものです。

会場には、世界中から寄せられた作品の中から選ばれた“時代（いま）を映す”表現作品が集結。見学した学生の多くが製作意欲を掻き立てられたようでした。特に、１年生にとっては初の校外研修ということもあり、さまざまな作品に出会った衝撃に加え、仲間との親睦も図ることができました。

「歩行ラリー」新入生が挑戦

新入生を対象にした恒例行事「歩行ラリー」が４月26、27日に行われました。

このラリーは、二人一組のペアでコマ図と呼ばれる指示書を手に学校周辺を指示書通りに歩けるかタイムを競うものです。

１日目は時間内に歩けなかったペアも出ましたが、２日目は全員が完歩。成績も向上し、学生たちはこのイベントの本質である「失敗から学ぶ」を身をもって知ることができました。

日本での就職めざし専門科目の授業開始

国際ビジネス学科

今まで日本語やマナーなどを中心に勉強してきた国際ビジネス学科２年生が、いよいよ本格的に専門科目の授業に取り組み始めました。学生たちは専門の授業に戸惑いながら、日本での就職に必要な資格取得に向けて頑張っています＝写真。

特に電気工事コースは、群馬県内でも留学生対象のコースとしては本校が初めてになります。覚えることも多く大変ですが、日々の授業では留学生に対して分かりやすいように担当の先生が自作した資料を使いながら、電気工事士の資格取得を目指しています。

学校法人 中央総合学園　厚生労働大臣指定 美容師養成施設
TBM 高崎ビューティモード専門学校
〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-1 TEL.027-310-2220(代) FAX.027-327-6344
www.chuo.ac.jp
CHUO 中央カレッジグループ

TBM・CMS 合同歩行ラリー開く

仲間と協力、失敗から学ぶ

高崎ビューティモード専門学校と中央医療歯科専門学校高崎校による合同「歩行ラリー」が、５月17日、18日の２日間、本校周辺コースで行われました。

「歩行ラリー」とは与えられたコマ地図を頼りに、設けられたチェックポイントを学生がペアになり協力しながらめぐっていく、企業でも実施されることもある問題解決能力向上の研修。本学園グループの基本方針「やって・みて・考える」「失敗（事実）から学ぶ」が象徴的に表れた行事です。

ラリーには、本校から１年生113人が参加、初日はコマ地図の見方がわからず、さまざまな失敗をし、苦戦するペアも見受けられました。初日を終えた学生たちは、失敗したことをペアやチームで話し合い、検証・反省し２日目に臨みました。

２日目は、１日目の反省をもとに、仲間と協力し、改善・向上を図った学生たちが目立ちました。改善ポイントで高い数値を示した団体や学生ペアには向上賞が贈られました。

本校からペア向上賞に内田芽亜さん（国際ビューティ学科、足利清風高校出身）・相場萌さん（国際美容師学科、前橋南高校出身）が選ばれました。

２人はチーム内で反省点を検証、改善をして、２日目に良い成績を収めました。

２日間のラリーでは、クラス・学年を超えた交流もあり、学生の笑顔の絶えない表情からは、充実した様子が見受けられました。

参加学生たちからは、今回の経験を通して「授業でも失敗した原因をしっかりと考えたい」の感想や「他のクラスとの交流ができ楽しめた」などの声が出ていました。

また裏方として２年生が、教職員と協力して運営を支えてくれました。

①緊張の中、元気よくコースへ
②初日の反省点を発表する

夢に向かって　新入生インタビュー

本校に、今春から新しい仲間が加わりました。それぞれの夢への決意を聞きました。

目標はスタイリスト

国際美容師学科
内藤　宇樹さん
（東京農業大学第二高校出身）

私は、中学のころから美容師になりたいと思っていました。そんな理由から本校に入学しました。国家資格取得や専門的な技術、知識を多く身につけ、スタイリストになることを目標に日々努力しようと思っています。

高校時代にたくさん迷惑をかけてしまった母の髪を切って、一生分の恩返しをすることも目標にしています。これから先、大きな壁や課題が出てくると思いますが、失敗しても諦めず、ポジティブ思考で乗り越えていこうと思います。好きなことを楽しめる美容師になるため、仲間と切磋琢磨し、学校生活を送りたいです。

ブライダルの仕事へ

国際ビューティ学科
福島　杏菜さん
（渋川女子高校出身）

私の夢はブライダルの仕事に携わることです。結婚という人生最大の幸せな時間のお手伝いをする仕事に、高校生の頃から憧れ始めました。そんな時、本校でブライダルスタイリストコースがあることを知り、入学を決めました。

将来の仕事の幅を広げるため、ブライダルの授業だけでなく、メイク・エステ・ネイル・ヨガ・ヘアーなど、多くの技術と知識を身に付け、日々努力していきたいと思います。

同時に、言葉遣い、礼儀、マナーもしっかり学び、コミュニケーション能力も身に付けたいので、これからの学校生活もより充実させていきたいです。

卒業生の現在（いま）　13

今回、紹介する卒業生は、15期生の狩野友紀さんです。

「Salon Ryu」
＝東京都港区赤坂

狩野　友紀さん（15期生）
（前橋西高校出身）

カラースペシャリストで活躍

狩野さんは本校の国際美容師学科を卒業し、数々の世界的なコンテストで優勝経験を持つオーナーのいる「Salon Ryu」で、フリーランス美容師として活躍しています。

「TBMでは、人を綺麗にするということを幅広く学ぶことができ、ヘアカラーが好きになった」と振り返るように、カラーについて深く学び卒業してわずか半年でカラーメーンの美容師として独立できたそうです。

現在、お店では、カラースペシャリストとしてお客様から厚い信頼を得ています。

好きが仕事になる。こんなに素晴らしいことはないと思います、と熱く語る狩野さんの今後のさらなる活躍をお祈りしております。

美心祭でネイルボランティア

高崎市の黒沢病院で５月26日に行われた「第27回美心祭」で本校学生がネイルボランティアとして活躍しました＝写真。

美心祭は、予防医療の観点から、健康づくりへ関心を持ってもらおうと行われています。

学生たちは、さまざまな年齢の方に接客を行う中で、技術だけでなく接客マナーも学ぶことができました。また、他校のボランティアの仲間とも交流できました。

本校では、国内外の美容関連イベント見学や研修旅行を通して、学生たちのレベルアップやモチベーションの向上を図っています。各会場では「美と技に魅せられ」、刺激を受けた学生たちの熱い思いが、あふれています。

美と技に魅せられて
イベント見学や国内研修

「ビューティーワールドジャパン2019」見学に訪れた本校学生と教職員

ビューティーワールドジャパン

国際ビューティ学科 １・２年生が会場に

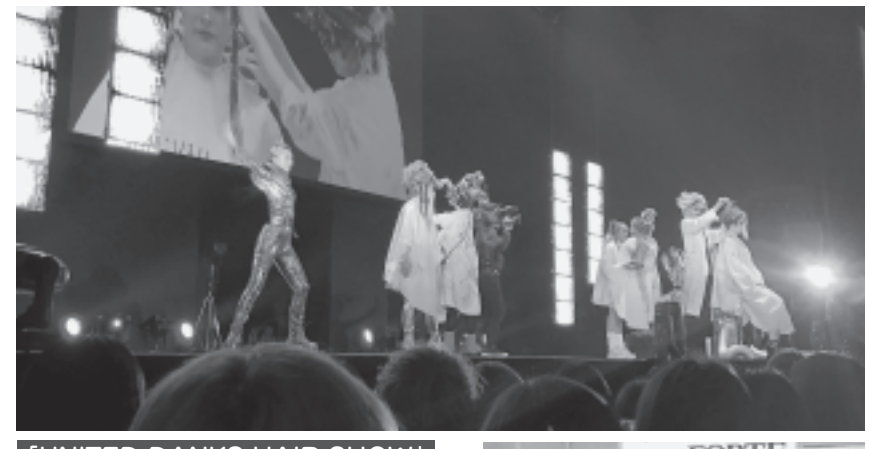
今年で22回目を迎えた、国内最大のビューティーイベント「ビューティーワールドジャパン2019」（５月13～15日）が、東京ビッグサイトで開かれ、国際ビューティ学科の１・２年生が見学に行ってきました。

この催しは、550社を超える企業が出展し、サービス、情報、技術が国内外から一堂に集う総合ビューティ見本市です。

毎回、新たなトレンドを発信することで知られるビューティーワールドジャパン。今年も、会場内にコスメティック・ネイル関連製品、ナチュラル＆オーガニック、美容機器、スパ＆ウェルネス･ダイエット＆ヘルス関連製品、まつ毛関連製品などさまざまな分野が出展。各社による技術セミナーや最新の商品紹介などが行われていました。

会場内には、来場者も参加できる魅力的なイベントも多く、学生達もプロのデモンストレーションを真剣に見ながら、ネイル技術やエステティック技術の体験ブースを楽しんでいました。

新商品などを手に取り、時間の経つのも忘れるほど真剣に各ブースを回りながら、会場直販のコスメアイテムを購入するなどして、最新の美容技術や知識を学んでいました。


ステージで繰り広げられるヘアショー

「UNITED DANKS HAIR SHOW」

「総合」「国際」２美容師学科の１、２年生がショー見学や就職フェアに

総合美容師学科、国際美容師学科の１、２年生が５月８日、国内研修旅行に出かけ、ヘアショーなどを見学してきました。

今回の研修旅行は、東京ドームシティホールで開催されたダンクスヘアショー見学と同時に開催された就職フェアへの参加が主な目的でした。

就職フェアでは、東京・神奈川を中心に展開をしているサロン９社が各々の個性を出したブースを出展、学生たちは多くのサロンの会社説明を真剣に聞いていました。

就職フェアも人気に

ヘアショーでは美容業界でも注目を集める各サロンがクリエイティブなステージを演出。また、スペシャルアンバサダーとして本校が教育提携している「TONI & GUY」も出演しました。

学生たちはプロフェッショナルの美容師が繰り出すクリエイティブなテクニックに魅了され刺激を受けていました。今回の経験で、感性を磨き、将来のビジョンをイメージできたと思います。

80社参加し就職イベント
Be Star TOKYO 2019

「本格的な就職活動のキックオフ！」。美容学生向けの就職イベント「Be Star TOKYO 2019」が、４月22日に東京の駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で開催されました。

今回は企業が企画したイベントで80社の参加があり、有名サロンに加え、店舗規模が異なる個人店から100店舗以上を展開しているサロンまで多数参加していました＝**写真**。

本校学生たちは、会社概要や採用条件等を中心にした説明を聞くとともに、DVDやパソコンから店内の様子やヘアショー、コンテストの模様も見ることができました。

また、学生と採用担当者との間で積極的な質問や実技の体験（ヘアアレンジブース、ネイル・アイ体験）もあり、施術をされている時に意見が交わされ、会場からは就職への熱い気持ちを強く感じ取ることができました。

本校は開校以来、高い就職率を維持しています。今年も学生と教職員一丸となって完全就職を目指します。

「目指せ早期内定」
２校合同で『就職総決起大会』

中央総合学園２専門学校（高崎ビューティモード･中央情報大学校）の「合同就職総決起大会」が４月16、高崎労使会館で行われました＝**写真**。

本校の高橋紀幸学校長、中央情報大学校の中島慎太郎学校長の激励あいさつに引き続き、各クラスの学生代表者が壇上に立ち、「就職早期内定」「就職100％達成」を目指して決意表明しました。

スローガンを書いたのぼり旗と必勝はちまきをして参加した学生たちは、気勢を上げ、早期内定に向けて、各クラスの意識統一した色紙にまとめ学校長に手渡しました。

学生たちの顔からは、「誰よりも早く就職を決めてやる」との気迫が感じられました。夢の実現に向け、職員もサポートし続けます。

TBM サロンガイダンス
２回開催し、81 社参加

「サロンの特長と仕事について知ろう」。県内外のサロンを招いた本校独自のサロンガイダンスが、６月３・４日に高崎労使会館で行われました。

同ガイダンスには、３日が40社（県内18社、県外22社）、４日は41社（県内27社、県外14社）のサロンの方々に参加していただきました。

熱心にサロン関係者の説明を聞く学生たち

本校学生約130人が参加し、それぞれが希望のサロンブースに詰めかけ、事前に準備しておいた質問などをしていました。サロン側も、学生たちに丁寧に対応、充実した就職活動を実施することができました。

学校法人 有坂中央学園　高等学校卒業と専門知識・技能の取得
CHS 中央高等専修学校
前橋：〒371-0842 群馬県前橋市下石倉町31-20 TEL.027-253-5596(代) FAX.027-280-5270
クラーク記念国際高等学校連携校
前橋校　http://chs-clark.jp
CHUO 中央カレッジグループ

２校41人が仲間入り

厳かに前橋・桐生合同入学式

クラーク記念国際高校連携校の中央高等専修学校前橋校（清水洋学院長）同桐生校（須川清学校長）の合同入学式が４月13日、中央カレッジグループ本部館ホールで厳かに行われました。前橋校は第21回、桐生校は第12回の歴史を刻む入学式で、合同入学式は、昨年度に続き２回目です。

式典は、日本学校教育相談学会群馬県支部の瀬下肇前理事長はじめ多くの来賓、保護者の出席を得て行われました。緊張気味の新入生は、前橋校32人、桐生校９人。担任からの呼名に、しっかりと返事し起立、清水学院長から入学許可を受けました。

次いで、先輩となる在校生代表の瓜生望真さん（前橋校）、堀鈴奈さん（桐生校）が歓迎の言葉を送りました。これを受け、新入生代表として前橋校の新井勇臣さん、桐生校の信澤奏杜さんが力強く誓いの言葉を述べ、本校への仲間入りを果たしました。

入学式から既に数カ月、新入生も今では、立派な本校生として勉強に運動に、充実した日々を送っています。

入学式で、誓いの言葉を述べる新入生代表

「全校交流会」で絆

新入生と先輩が一緒にカレー作り

１年生が入学して初めての大きな学校行事「全校交流会」が５月14日、赤城青少年交流の家で行われました。生徒たちは、１年から３年まで縦割りの班に分かれ、上級生をリーダーに「カレーライス」作りにチャレンジ。同じ前橋校の生徒として、互いに協力し、準備から調理、食事、片付けまでの作業に汗を流しました。

①

②

③

①下ごしらえも協力して
②かまどの火の管理も大切
③カレーライスを全員で食べる

交流会当日は朝から天候も危ぶまれたため、屋根付き広場に各班がかまどを据えての調理となりました。

すでに生徒たちは、事前にミーティングし、下ごしらえ、かまど準備、炊飯等担当を決め調理に臨みました。なかには薪（たきぎ）が湿っていたのか火を起こすのに苦労した班もありました。

それでも、各班すべてが時間内に調理を完成させ、実行委員の「いただきます」の号令のもと、一斉にカレーライスを食べることができました。

各班とも、同じ材料、同じ道具を使って臨みましたが、カレーライスの仕上がりも味もそれぞれでした。普段は食べることもないようなおこげの入ったご飯も、そのおいしさを全員で味わいました。

食後は全員協力して後片付け。使用した調理器具や食器にこびりついた汚れも、落とそうと奮闘しました。片付けが終わったのち、実行委員考案のレクリエーションを楽しみ、交流会を終えました。

この行事を境に、１年生も立派に本校生の一員として仲間入りができました。

台湾の仲間とふれあい

**国際ロータリー第2840地区
インターアクトクラブ
「青少年台日国際交流事業」**

国際ロータリー第2840地区（群馬）傘下のロータリークラブなどが指導するインターアクト・クラブ16校の代表生徒20人が、３月28日から31日まで、台湾を研修訪問、歴史・文化を学ぶとともに、現地の高校生と交流を深めました。本校からも生徒２人がこの研修に参加し、新北市清傳高級商業学校を訪問。授業などを体験しました。

滞在中の１泊２日は清傳高商の生徒の家にホームステイし、台湾の日常生活の一部を知ることができました。

台湾の高校生が本校に

台湾訪問後の５月10、11日、清傳高商の生徒たちが本校を訪問、生徒たちと交流しました。

日本の文化を知ってもらおうと「お茶室」「着付け」「缶バッジ・造花作り」「餅つき」などのブースを班ごとに体験し、大いに盛り上がりました。特に餅つきについては、何度か日本に来たことがあるという清傳高商の引率教員も初の体験ということで好評でした。

来日し本校生徒らと交流する台湾の高校生

清傳高商の生徒は当校生徒も含めた群馬県内のインターアクトクラブ代表生徒の家にホームステイし群馬の文化に触れました。11日にはさよならパーティーを開催し、台湾・日本それぞれのダンスや歌を披露し合い、最後の交流を行いました。

インターアクトクラブは12歳から18歳までの青少年で構成される国際的奉仕クラブです。

今回の台日国際交流事業は、本校が前橋南ロータリークラブの指導・協力を受けホスト校として取りまとめました。国際ロータリー第2840地区の皆様、台湾三重中央ロータリークラブや清傳高級商業学校の皆様、ホームステイに協力いただいた関係者の方々に感謝いたします。

日ごろの地域清掃が評価
環境美化で日本善行会表彰

一般社団法人日本善行会主催による令和元年度特別善行表彰式が東京の明治神宮で５月18日行われ、前橋校が定期的に行っている「地域清掃活動」が認められ、環境美化の部で表彰されました。表彰式には清水洋学院長が代表で出席しました。

日本善行会の表彰は、公共生活、事故防止、環境美化、青少年指導、社会福祉、人命救助、国際などの各分野で貢献した団体や個人を表彰するものです。

今回の前橋校の表彰は、日常の活動の一端が評価されたものです。普段、当然のように地域清掃している生徒たちにとっても、今後の活動に大きな励みになりました。

善行会から贈られた表彰状と盾

学校法人 有坂中央学園　高等学校卒業と専門知識・技能の取得
CHS 中央高等専修学校
桐生：〒376-0011 群馬県桐生市相生町5-59-28 TEL.0277-53-8511(代) FAX.0277-53-8532
クラーク記念国際高等学校連携校
桐生校　http://chs-clark.jp
CHUO 中央カレッジグループ

就任あいさつ

大志に寄り添って

中央高等専修学校桐生校
学校長　須川　清

４月、桜の花に迎えられ、進級した緊張感や期待感を抱いている生徒を前に自分自身も新たなスタートを切りました。また新入生は、高校生になった不安感などから、ワクワクどきどきした様子が感じられました。そこで、今年度本校の生徒に３つお願いをしました。それは、「自立と貢献」と「背中に挨拶」「自信と誇り」です。

１「自立と貢献」

これから、社会人として巣立つためには自立することが大切。また、社会人として社会にどう関わっていくか、何ができるか周囲への貢献の気持ちも大切です。仲間とともに一体感をもって学校生活を送りながら行事等いろいろな場面で考え、実践行動する力を身につけてほしいと言うことです。

２「背中に挨拶」

次に積極的に物事に取り組めるようになってほしいと願い、「背中に挨拶」と言う言葉を伝えました。いろいろな場面で顔を合わせ互いに挨拶を交わすことは、日常ごく普通のでき事と思います。しかし何か作業をしている人や気づかない人の近くを通り過ぎるときなど、あえて挨拶せず通り過ごしてしまう事もあるかも知れません。そこで勇気を出して声をかけてみる。挨拶してみると相手は、はじめ驚いたような顔をしますが直ぐに笑顔で応えてくれます。この様に、自分の気持ちを奮い立たせ勇気を出して一歩踏み出すことで自分の可能性が広がるのではないでしょうか。こんな願いから相手の気づかない背中に向かっても積極的に挨拶する習慣「背中に挨拶」を大いに実践してほしいと思っています。きっと良いことがたくさん経験できると思います。

３「自信と誇り」

三つ目として「皆さんが通う桐生校の良いところを「発見」し「発展」させていこう。自分たちの行動に自信を持って、この高校生活に誇りを持って新たな歴史をみんなの手で、みんなの力で築いていこう。」と訴えました。

そのために、日常の生活の中でいつも心がけて欲しいことを三点あげました。

○**笑顔**　素敵な笑顔で他者とかかわるとき、優しさや思いやりが生まれます。

○**まなざし**　何事にも真剣に取り組む(学ぶ)姿勢が、目の輝きに現れます。

○**あいさつ**　元気の良いあいさつは、健康の現れ、心や体を励まし、たくましくしてくれます。

このことは、人を成長させ、夢や希望に近づくためにいつも心がけてほしい大切なことです。そして、私たち桐生校のすべての教職員は、生徒一人一人の夢や希望が実現できるように、寄り添い、支え、導き「生徒たちが意欲を持って学べる学校」つくりを目指し決意を新たにしているところです。

私自身も『とことん面倒見のよい学校』つくりの一員として生徒からエネルギーを貰いながら、少年の大志に寄り添っていこうと思います。

歴史や文化を実体験
前橋・桐生合同で「沖縄学習」

前橋校・桐生校の３年生が５月21日から24日までの４日間、「沖縄学習（修学旅行）」に出かけました。沖縄学習は平和学習をメーンとして行われ、合わせて沖縄各地をめぐり、その文化に触れながら協調性、公共心、責任感などを養うことを目的としています。

初日は沖縄への移動が中心。空路で沖縄へ入り、宿泊先であるリゾートホテルにバスで向かいました。ホテルでは、プライベートビーチやプールで南国気分を味わったり、お土産屋さんをめぐったりして過ごしました。

２日目は国営沖縄記念公園と琉球村見学、そして国際通りの自由散策でした。国営沖縄記念公園では美ら海水族館を見学し、大きな水槽の中を悠々と泳ぐ大きなジンベエザメに圧倒されました。琉球村では沖縄固有の文化や音楽に触れることができました。

３日目は、研修旅行の大きな目的である平和学習の日。平和祈念資料館、平和の礎を見学、群馬の塔では全員で献花をしました。ひめゆりの塔資料館では、映像を通して実際に沖縄戦を経験した方の生の声を聴いてその悲惨さを感じ、今の時代からは想像できない悲劇が起こった沖縄の歴史の一端に触れ、生徒たちはあらためて平和を尊ぶ心を感じていたようです。

沖縄学習に参加した生徒と教職員

最終日は、琉球王国の象徴で世界遺産でもある首里城公園を見学、修学旅行全行程を終え、帰路につきました。

この沖縄学習を通して、歴史や文化に触れたくさんのことを学ぶことができたと同時に、団体行動するうえで大切なこともしっかりと経験、仲間との交流も図れました。この経験や見聞きし学んだことを今後に生かしてほしいと思います。

仲間と交流図る
●１年生が宿泊研修●

入学間もない１年生が、４月25、26日に、太田市の東毛青少年自然の家で宿泊研修に挑みました。１泊２日を共にすることで仲間との交流を深め、集団生活の大切さを学ぶ本校恒例の行事です。

元気に茶臼山山頂へ到着

１日目は開校式、ハイキング、キャンドルファイヤーを行いました。ハイキングでは、標高400mほどの茶臼山の頂上までの登山。往復約３時間のコースで、しかも当日朝まで雨が降り、宿泊施設に到着した時もくもり空だったため登ることができるか心配でした。しかし、生徒たちの願いが通じたのか、直前に晴れて、暑いほどになりました。

苦労して登った頂上からの眺望は素晴らしく歓声も上がっていました。夜には体育館に集まりキャンドルファイヤー。たくさんのろうそくの火はとても幻想的でした。

２日目の午前中はピザ作り。友達と協力して生地から作ったピザはお店顔負けの味でした。午後にはマイスプーン・マイフォーク作りをしました。柄に各々デザインをして、自分だけのスプーンとフォークを完成させました。

学校生活が始まってわずか２週間目での宿泊研修だけに、最初は緊張していましたが、時間を共有するうちに、会話も増え親睦を深められました。

ドッジビーで交流
●新入生歓迎会開催●

新入生歓迎会が６月21日、桐生市民体育館で行われ、ドッジビーを楽しみました。

ドッジビーとはドッジボールのボールの代わりに柔らかいフリスビーを使用して行うスポーツ。１年生と２年生が２人ずつ、３年生４人の計８人チームを４班作り、チーム総当たり戦で行いました。

新入生の歓迎会

普段は、学年の枠を越えて交流する機会が少なく、最初は遠慮がちでしたが、競技を行うにつれチーム内で盛り上がり、「次はどういう作戦でいこうか」と話しあったり、好プレーには学年の枠を越えて歓声が起こっていました。

競技後、１年生からは「楽しかった」「上級生は元気だった」という感想も聞かれ、実りある歓迎会となりました。

電卓・運動・学習
３クラブ活動実施

桐生校では放課後、曜日ごとに３つの部活動を行っています。

毎週火曜日は電卓クラブ。商業科目の授業でも電卓を学びますが、授業以外でも練習して電卓検定合格を目指す生徒が練習をしています。

毎週水曜日は運動クラブです。今年から新設された部活動で、運動不足解消や、リフレッシュ、より強靭な肉体を手に入れるため毎回さまざまな筋トレやトレーニングを行っています。

毎週木曜日は学習クラブです。こちらも今年から新設された部活動で、苦手な生徒が多い数学と英語を中心に中学校の基礎学習を指導しています。進学志望の生徒も増え、勉強に意欲的な生徒も多く普段の授業とは違った雰囲気の中で勉強しています。

学校法人 中央総合学園　動物看護師統一認定機構コアカリキュラム導入校
CAN 中央動物看護専門学校
〒371-0844 群馬県前橋市古市町１丁目43-27　TEL. 027-253-7211　FAX. 027-289-4005　フリーダイヤル. 0120-15-1281
www.chuo.ac.jp　CHUO 中央カレッジグループ

「動物看護師」国家資格に

愛玩動物看護師法が国会成立
ペットの高度医療に対応

ペット愛好者の増加と高度医療へのニーズに対応した「愛玩動物看護師法」が、今国会で成立しました。同法案は、これまで業界団体が設けた資格試験を受験していた動物看護師を国家資格とするものです。獣医師の指導のもと、「愛玩動物」に対する診療補助や看護・飼育指導などに従事する業務を、国家資格として認めるもので、これに伴って国家試験が導入されます。本校にとっても学生たちの新たな目標が生まれました。

「動物看護師」の国家資格化への動きは、動物看護師養成施設や業界団体の長年の運動が実ったものです。

背景には、ペット愛好者の増加、それに伴い動物病院などに質の高いペット医療を求める意識の高まりなどがあります。それらの状況を踏まえ、今国会では、超党派の議員連盟によって法案が取りまとめられ、提出されました。

成立した愛玩動物看護師法によるとその目的（第一条）は、「愛玩動物看護師の資格を定めるとともに、その業務が適正に運用されるように規律し、もって愛玩動物に関する獣医療の普及及び向上並びに愛玩動物の適正な飼養に寄与することを目的とする」とされています。

また、愛玩動物看護師の仕事については第二条２において「農林水産大臣及び環境大臣の免許を受けて、愛玩動物看護師の名称を用いて、診療の補助及び疾病にかかり、又は負傷した愛玩動物の世話その他の愛玩動物の看護並びに愛玩動物を飼養する者その他の者に対するその愛護及び適正な飼養に係る助言その他の支援を業とする者」と位置づけられています。

今後、初の国家試験がいつになるのか、試験内容や範囲なども具体的になってくると思われます。

夢に向かって　新入生インタビュー

幼稚園から中学校まで共に過ごした２人が、同じ夢をもち本校に入学しました。再会し机を並べることになった相川奈々美さんと杉浦日南さんに学校生活や夢についてインタビューしました（写真＝相川奈々美さん㊧と杉浦日南さん㊨）。

相川奈々美さん
（桐生西高校出身）

▽学校生活で楽しいことは

休み時間に友達と話をしている時が、いちばん楽しいです。クラスに気の合う友達もでき、他愛もない話で盛り上がっています。教室中がとてもにぎやかで居心地が良いです。

▽学校行事等について

イベント委員になったので、学校行事を盛り上げたいと思います。特に「かわせみ祭」が楽しみで、ステージイベントに友達を出場させたいと今から考えています。

７月の「スポーツフェスティバル」も楽しみにしています。学園全体での大きなイベントなので、他校の学生とも交流がもてるチャンス。走ることが好きなので、リレーに出ることができれば全力で頑張りたいと思います。

▽今、頑張っていることは

飼育当番です。まだまだ２年生に頼ってばかりの面があるので、仕事内容をしっかり覚えて自ら動けるよう努力したいです。飼育班の副班長にもなりましたし、動物の命を預かる重要性をしっかり意識し責任をもって接していきたいと思います。

飼育動物のホームステイにも協力しています。先住犬（キキ君・13歳）と仲良く過ごすことができるように、トレーニングに励んでいます。

▽将来の夢

動物看護師、ペットショップ店員のどちらに進むにせよ、飼い主さんとペットを安心させられるスタッフになりたいと思います。そのためには、日々の授業での知識、実習での技術習得を目指し、安心してもらえるだけでなく、喜びも与えられる存在になりたいです。

杉浦　日南さん
（勢多農林高校出身）

▽学校生活で楽しいことは

友達といることで、毎日がとても楽しいです。４月に行われた歩行ラリーで、友達との仲が深まったと思います。特にペアを組んだ人がとても頼もしく、不安に思っていた私の気持ちを引っ張ってくれました。

▽学校行事等について

学校行事がたくさんあるので、どれも楽しみにしています。行事以外では、授業の「グルーミング実習」を楽しみにしています。今はウィッグを使ってのカット練習が主ですが、生体での実習が待ち遠しいです。高校でも、犬が好きだったことから、トリミング部に入っていました。本校のオープンキャンパスでカット体験をした時に、上手にカットができていると先生方に褒められてうれしかったことを覚えています。今後は飼い主さんに喜んでもらえるよう、授業でさまざまなカットを勉強していきたいです。

▽今、頑張っていることは

コミュニケーション力を高めたいと思い、自分からあいさつするように心掛けています。授業でも積極的に発言しています。そうすることで、理解力も高まり、先生との会話も増えます。そして何より、自分に自信が持てるようになったと思います。

▽将来の夢

大好きな、トリミングの技術を活用できる職業に就きたいと思っています。飼い主さんだけでなく、動物からも信頼される動物看護師に憧れます。これらを両立できる、動物病院での就職も視野に入れています。飼い主さんの要望に合わせ、それに応えられるようなスタッフになりたいです。

幅広い知識や技術学ぶ

１年生が３日間の「職場体験」に挑戦

体験学習で動物病院を訪問した本校の加藤南陽さん。飼育している保護犬のカイ君と

動物看護師統一認定機構の新コアカリキュラム策定に伴い、本年度からインターンシップ以外の期間に３日間の体験学習（職場体験）が設けられました。これを受け、本校でも１年生が５月21日から23日の３日間、希望する企業（主に動物病院）へ職場体験に行き、動物看護師の仕事や動物病院の雰囲気などを現場で学んできました。

この体験学習は、将来的な職域拡大を念頭に置き、幅広い分野での知識・技術を身に付けられるようにすることを目的にしています。

学生受け入れ先となった動物病院の院長先生や動物看護師さんからは、「学ぼうとする姿勢が見受けられた」「早期ではあるが、学生にとっては良い機会が与えられ、今後に生かせる実習です」と高い評価の声をいただくことができました。

学生たちにとって、３日間の職場体験は、将来の夢への貴重な学びとなったようです。

新ファミリー犬
「リキ君」学園に

本年度、新しいファミリー犬としてリキくん＝写真＝が加わりました。元気で力強く成長してほしいという願いを込めて、学生がこの名前を付けました。

リキくんは2018年12月23日生まれの男の子です。母犬がヨークシャー・テリアで父犬がポメラニアンで、性格はとても好奇心旺盛で、賢く、負けず嫌いです。一回り体の大きいキャバリアの「はなちゃん」を積極的に遊びに誘い、おもちゃの引っ張り合いも負けません。時には、「はなちゃん」が圧倒されてしまう場面も見られますが、普段は同じベッドで仲良く寝ています。

リキくんはきっとこれからの本校を力強く引っ張ってくれるでしょう。